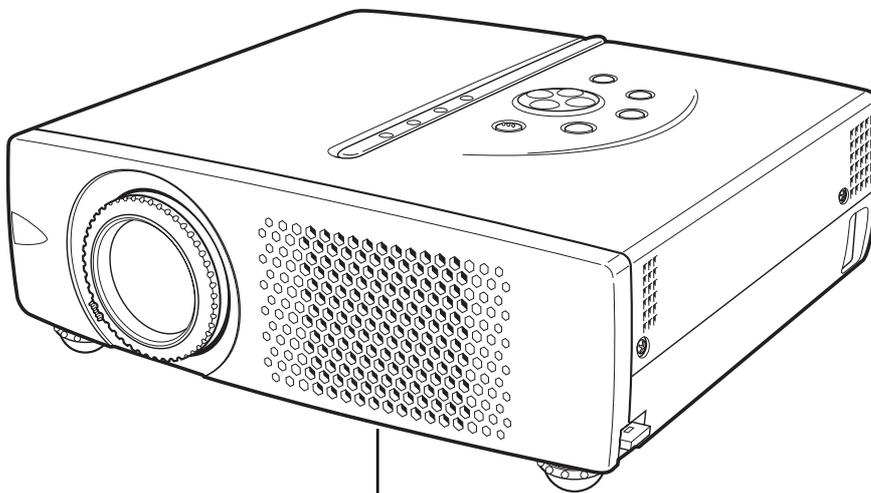


液晶プロジェクター 品番 LP-SW20A 取扱説明書

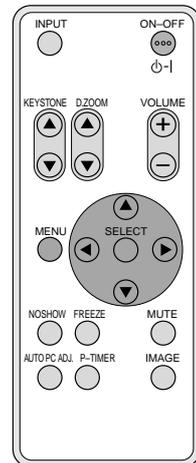
お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使い下さい。とくに4～9ページの「安全
上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつ
でも取り出せるところに必ず保管してください。わ
からないことがあったときなどにお役に立ちます。

お買い上げ商品の品番は底面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



品番表示



取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（ ）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

コンピュータ対応液晶プロジェクター LP-SW20A の特徴

800 x 600 ドットの高解像度液晶パネル採用により、SVGA コンピュータにリアル対応、XGAにも圧縮対応

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- コンピュータの種類を判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャンシステム」と「オート PC アジャスト」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタルズーム」機能。(コンピュータモード時)
- 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン(台形補正)」機能。
- 音声を一時的に消す「MUTE」機能、画面を一時的に消す「NO SHOW」機能、画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER(プレゼンテーションタイマー)」機能。
- 「アンプ・スピーカ」内蔵で音響施設のない出先などでもプレゼンテーションが可能。
- 映像の明るい部分や暗い部分の像形をくっきりさせる「白黒伸張」機能。
- より自然な肌色を再現する「肌色補正」機能。

海外の映像システムにも対応する 6 カラーシステム

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラーシステムに対応。

小型・軽量・B5ファイルサイズ・コンパクトデザイン

- キャビネットの小型化・軽量化を図るとともに、前面排気デザインの採用により、プロジェクターの快適操作を実現。

コンポーネント映像入力端子を装備

- DVD やHDTVなどを高画質で再生。

天吊り、据置、リア投映など、さまざまな設置方法に対応

ワイヤレスカードリモコン付き

満足の明るさと高精細大画面

- 約144万画素の高精細映像でSVGAコンピュータ画面をリアル投映。
- 150W UHPランプの採用により、高輝度化を実現。
- 34~200型の大画面。

充実のコンピュータ/ビデオ入力端子

- コンピュータ入力端子には、ミニD-sub 15ピン(アナログ)を装備。
- ビデオ入力端子には、コンポーネント映像、S映像、コンポジット映像を装備。
- その他に、USB端子、コントロールポート端子、音声入出力端子を装備。

小型・軽量・前面排気デザイン

- 小型・軽量 2.8 Kg、B5ファイルサイズのコンパクトボディを実現。
- プロジェクターの操作を快適にする前面排気デザインを採用。

ワイヤレスカードリモコン

- プロジェクターの遠隔操作が可能。
- プレゼンテーション時に便利な P-TIMER(プレゼンテーションタイマー)機能。

目次

安全上のご注意 4

準備 10

- 付属品を確認してください・・・10
- 本体各部のなまえ・・・11
- 設置のしかた・・・12
- 電源コードを接続する・・・15

操作の前に 16

- 本体操作パネルのボタン・・・16
- リモコンのボタン・・・17
- オンスクリーンメニューの操作方法・・・19

基本操作 21

- 電源を入れ画面を投映する・・・21
- 音量を調節する・一時的に消音する・・・23
- 画面を一時的に静止させる・・・24
- 画面を一時的に消す・・・24
- プレゼン時に経過時間を表示する・・・24
- 電源を切る・・・25

コンピュータ入力 26

- コンピュータ入力に切り換える・・・26
- コンピュータシステムの選択・・・26
- コンピュータシステムの調整・・・27
- コンピュータシステムモード一覧・・・30
- イメージの調整・・・31
- 適切な画像サイズに調整する・・・34

ビデオ入力 35

- ビデオ入力に切り換える・・・35
- カラーシステムや走査方式を選択する・・・36
- イメージの調整・・・37
- 画面のサイズを選択する・・・39

設定 40

- セッティングメニューの設定・・・40

接続 42

- 機器をつなぐ端子・・・42
- コンピュータを接続する・・・43
- ビデオ機器を接続する・・・44

付録 45

- 端子の仕様・・・45
- 内部の温度上昇について・・・46
- 光源ランプの交換・・・47
- 正しくお使いいただくために・・・49
- インジケータ表示とプロジェクターの状態・・・50
- 故障かなと思ったら・・・51
- 仕様・・・52
- 別売品・・・53

お客さまご相談窓口 54

保証とアフターサービス 裏表紙

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左の絵表示は感電注意を意味します。)



分解禁止

⊘の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左の絵表示は分解禁止を意味します。)



電源プラグを
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)

警告

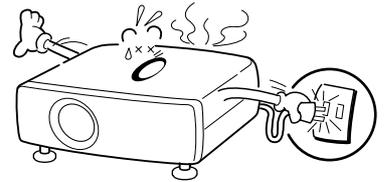
- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 使用中はレンズをのぞかないでください。強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。



警告



- 万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 万一異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を販売店にご依頼ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



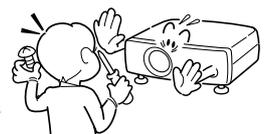
- 本機のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



感電注意



- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止



水ぬれ禁止

⚠ 警告

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁 止

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室
での使用禁止

- 本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



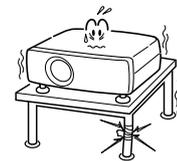
水ぬれ禁止



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



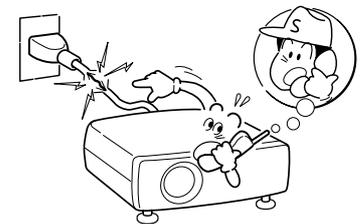
禁 止



- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



禁 止

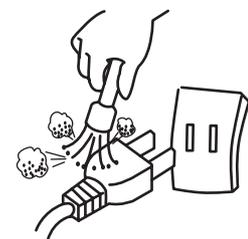


- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

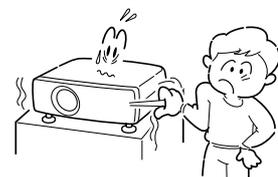
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くに特にご注意ください）



- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



禁 止



警告

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



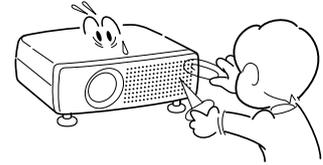
接触禁止



- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。火災・けがの原因となります。



禁止



- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 本機は接地端子の付いた 3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードのアース端子を設置してください。(詳しくは、15 ページをご覧ください。)



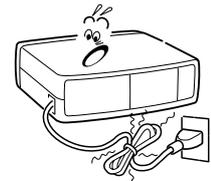
アース線を接続する

注意

- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



禁止



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



⚠ 注意

- 内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。ご使用の際は、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

設置のときは、ファンの排気口を壁から1メートル以上はなしてください。

次のような使い方はしないでください。

- * 横倒しなど、指定以外の方向に、設置しないでください。
- * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
- * じゅうたんや布団の上に置く。
- * テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものから1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。



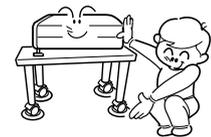
禁止



- キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



注意



- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



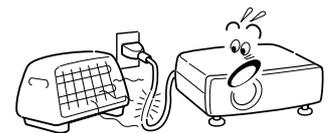
禁止



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け

⚠ 注意

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- 長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。



注意



正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズカバーをはめ、付属のキャリーバッグに納めて持ち運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。別売の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

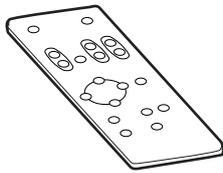
● 付属キャリーバッグ使用上の注意 ●

付属のキャリーバッグは液晶プロジェクターを持ち運ぶとき、ホコリ等による汚れの防止と、キャビネット表面保護のためです。キャリーバッグは液晶プロジェクターを外部からの衝撃から保護する様に設計されていません。キャリーバッグに入れて持ち運ぶとき、衝撃を与えたり、落としたり、またはキャリーバッグに入れた液晶プロジェクターの上にものを置かないでください。破損の原因になります。液晶プロジェクターをキャリーバッグで輸送しないでください。破損の原因となります。

付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

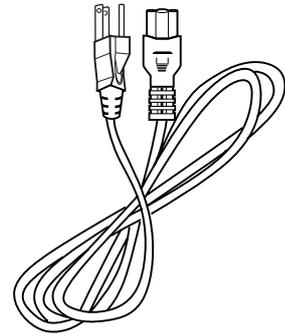
1 リモコン



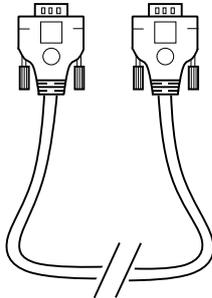
2 リモコン用リチウム電池
(リモコンに内蔵)



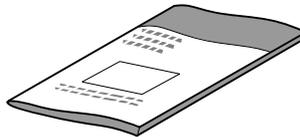
3 電源コード



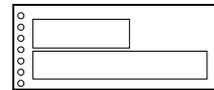
4 コンピュータ接続ケーブル
(DOS/V用)



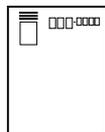
5 使用説明書 (本書)



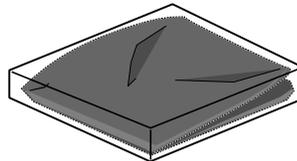
6 保証書



7 ユーザー
登録カード (はがき)



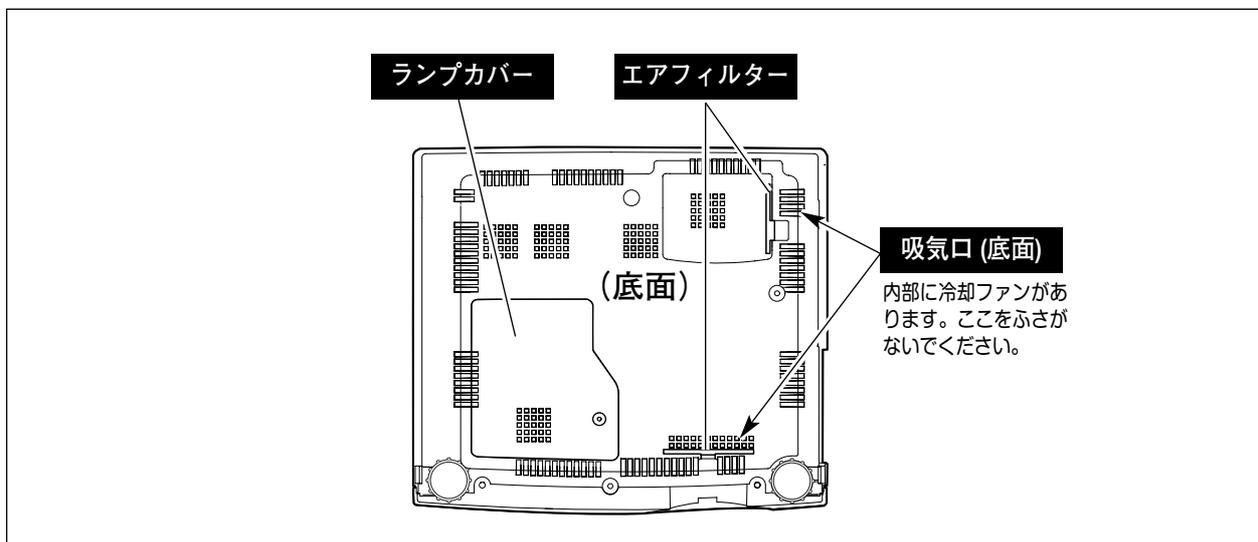
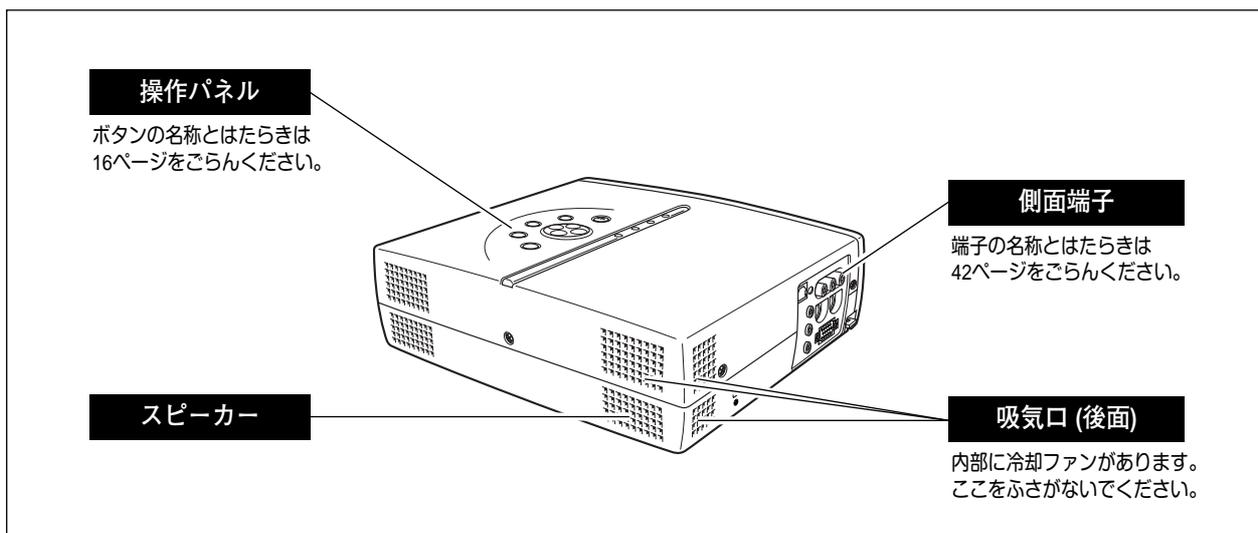
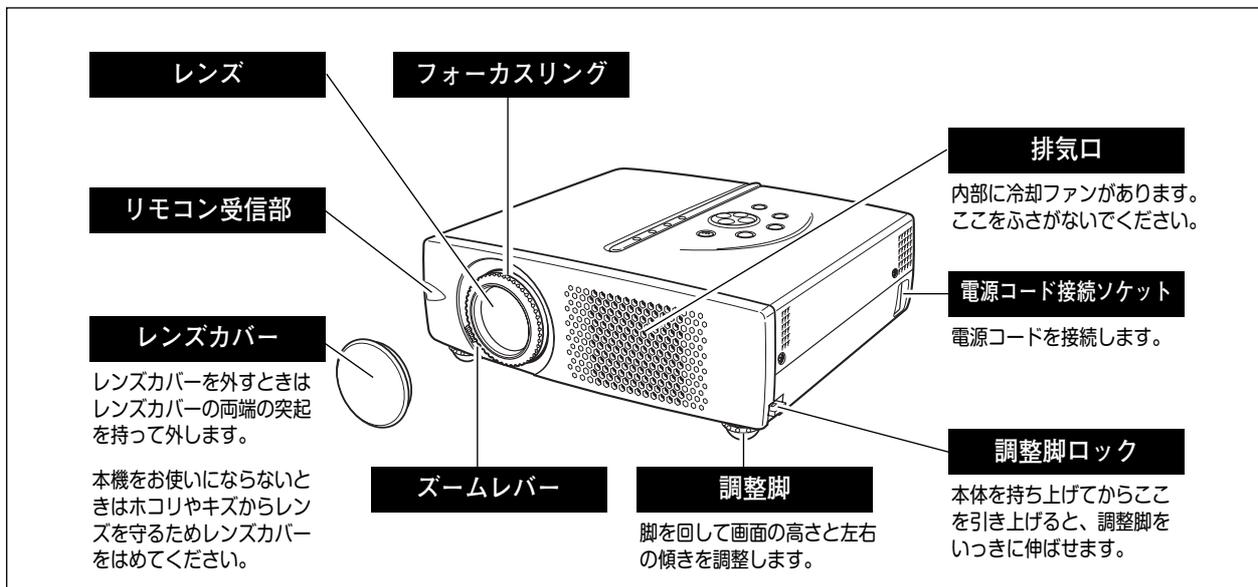
8 キャリーバッグ



9 レンズカバー



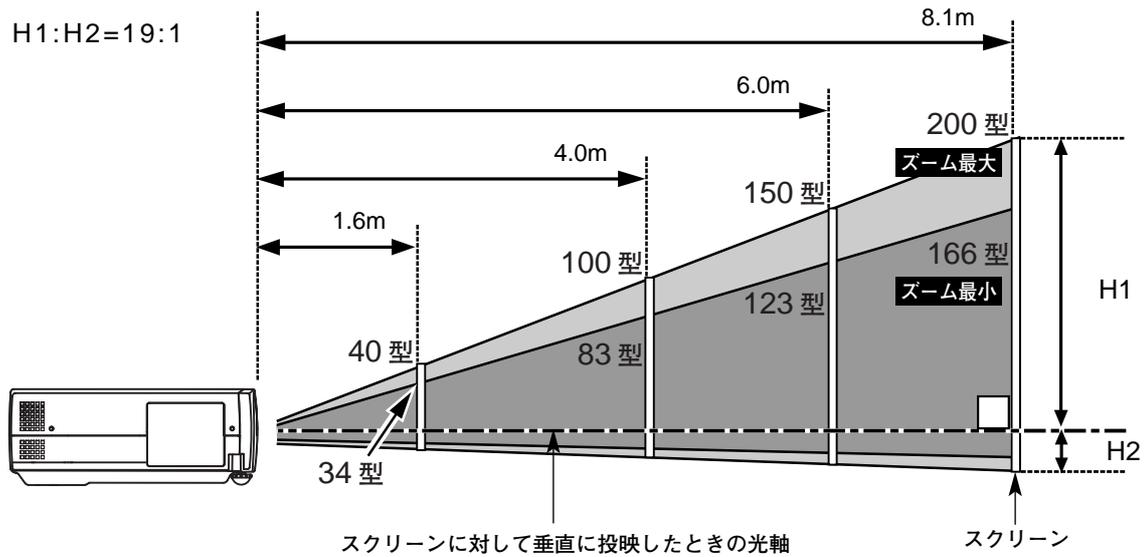
本体各部のなまえ



設置のしかた

スクリーンからのおよその距離と画面サイズの関係

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまでの距離が約 1.6m~8.1m の範囲に設置してください。

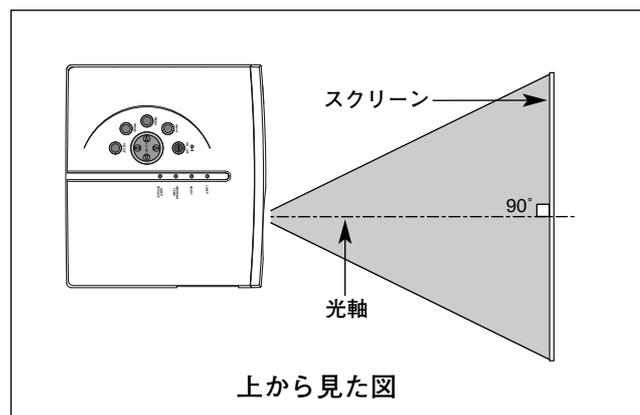


画面サイズ (幅 x 高さ : mm)	34 型	40 型	60 型	100 型	150 型	200 型
	691 x 518	813 x 610	1219 x 914	2032 x 1524	3048 x 2286	4064 x 3048
投射距離 (ズーム最小)	1.6 m	1.9 m	2.9 m	4.9 m	7.3 m	—
投射距離 (ズーム最大)	—	1.6 m	2.4 m	4.0 m	6.0 m	8.1 m

※上表は 4 : 3 の画面サイズで、投映画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。(34、39 ページ参照)

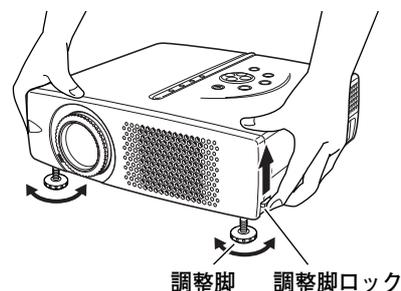
スクリーンに対して直角に設置する

投映したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



投映画面の高さと傾きを調整する

- 1 本体前方を持ち上げてから両側の調整脚ロックを人差し指で引き上げて調整脚を伸ばし、人差し指を離して調整脚をロックします。
- 2 本体前方の2つの調整脚をまわして投映画面の高さと傾きを微調整します。最大約 10.6 度まで上がります。



- 投映したときの光軸の上下方向の傾きは ±20度以内に ●
- スクリーンに対して光軸の上下方向の傾きが ± 20 度以内になるように投映してください。光軸の上下方向の傾きが大きいと、光源ランプの故障の原因となります。

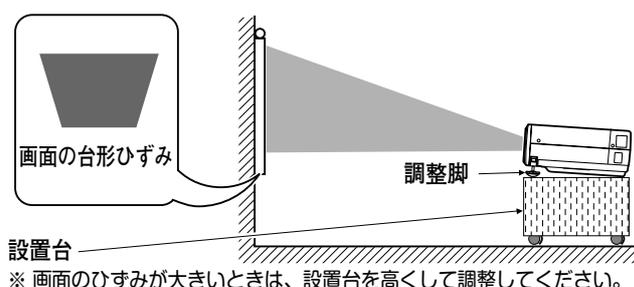


注意

- 画面の台形ひずみ (あおり) ●

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。(22、40 ページ参照)



設置するときは次のことに注意してください

- 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・ スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・ 金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・ 観葉植物やペットを置かないでください。
- ・ 熱で変型したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・ 排気口付近には視聴席を設けないでください。



注意



- こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

- 使用温度範囲 ● 5℃～35℃ ● 保管温度範囲 ● -10℃～60℃

- スクリーンと部屋の明るさ ●

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋ではカーテンを引くなどしてスクリーン周辺を暗くしてください。

- 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

正しい方向に設置してください

プロジェクターは正しい方向に設置ください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。



20°

傾きは 20° 以内に

上下への傾きは各 20°
以内としてください。



横置き禁止

横に立てて設置して投影し
ないでください。



上向き禁止

上向きに設置して投影しな
いください。



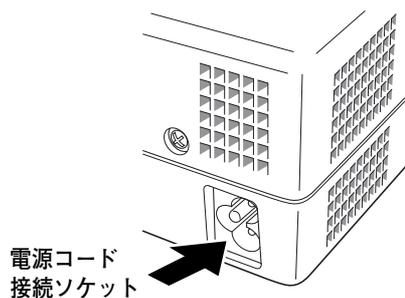
下向き禁止

下向きに設置して投影しな
いください。

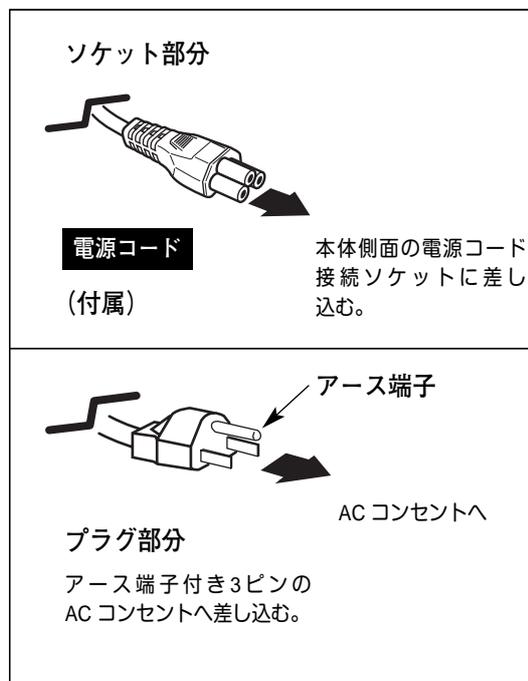
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、42～44 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3ピンの AC コンセントに差し込みます。



● アース端子を接地してください ●

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子の接地を行なってください。また、アース端子の接地はコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因となることがあります。

● ご使用にならないときは電源コードを抜いてください ●

本機は、操作パネルやリモコンの ON-OFF ボタンで電源を切っても、約 13 W の電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源コードのプラグを AC コンセントから抜いてください。



注意

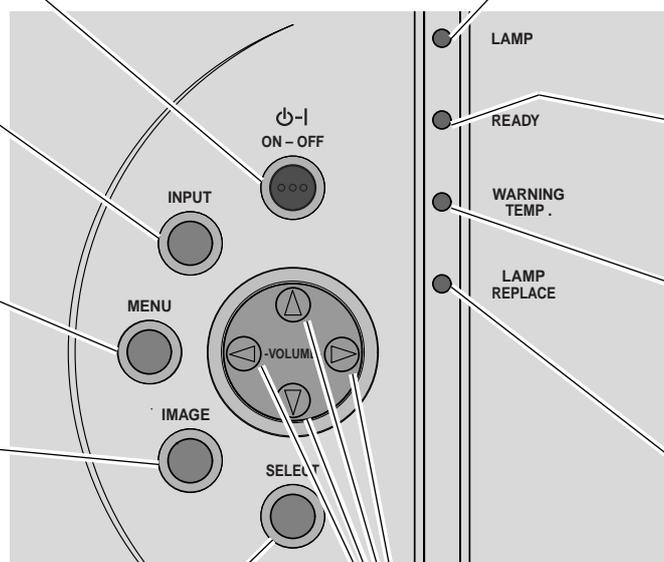
本体操作パネルのボタン

**オンオフ
ON-OFF ボタン**
電源を入り・切ります。

**インプット
INPUT ボタン**
コンピュータ入力・ビデオ入力を切り換えます。

**メニュー
MENU ボタン**
メニューバーを出します。

**イメージ
IMAGE ボタン**
イメージモードを選択します。



**セレクト
SELECT ボタン**
ポインタの指す項目を選択します。

**ボリューム
ポイント (VOLUME) ボタン**
オンスクリーンメニューのポインタの移動や音量の調節に使用します。

**ランプ
LAMP インジケータ**
電源を入れる準備ができたとき、また、プロジェクターが動作中に点灯します。

**レディ
READY インジケータ**
主電源が入っているときに点灯します。

**ワーニング テンプ
WARNING TEMP. インジケータ**
点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。

**ランプ リプレイス
LAMP REPLACE インジケータ**
光源ランプの交換時期を知らせます。

リモコンのボタン

**インプット
INPUT ボタン**

コンピュータ入力・ビデオ入力を切り換えます。

**デジタルズーム
D. ZOOM ボタン**

デジタルズームの調整をします。

**キーストーン
KEYSTONE ボタン**

画面の台形ひずみ（あおり）を補正します。

**メニュー
MENU ボタン**

メニューバーを出します。

**ノーショー
NO SHOW ボタン**

画面を一時的に消します。

**オートピーシーアジャスト
AUTO PC ADJ. ボタン**

トラッキング・総ドット数・画面位置を自動調整します。

**ピータイマー
P-TIMER ボタン**

プレゼンテーション（ボタンを押してからの）経過時間を表示させます。

**パワー
POWER ボタン**

電源の ON/OFF を行ないます。

**ボリューム
VOLUME ボタン**

音量を調節します。

ポイント ボタン

オンスクリーンメニューのポインタの移動やメニューの調整、デジタルズームモードのときの画像の移動に使用します。

**セレクト
SELECT ボタン**

ポインタの指す項目を選択します。

**ミュート
MUTE ボタン**

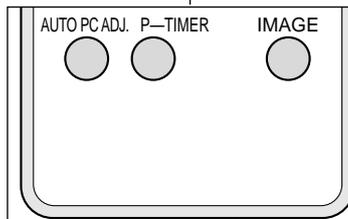
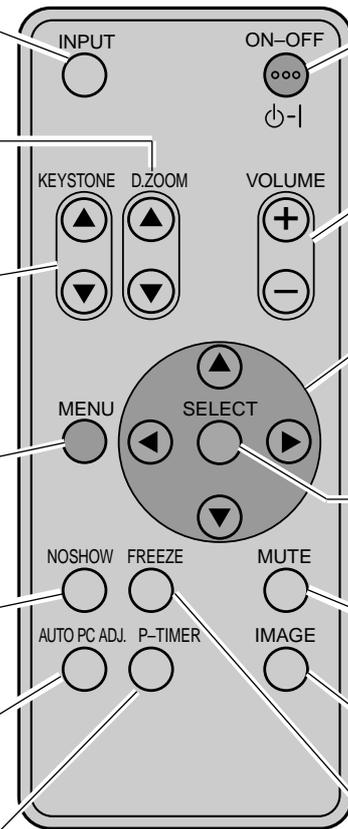
音声を一時的に消します。

**イメージ
IMAGE ボタン**

イメージモードを選択します。

**フリーズ
FREEZE ボタン**

画面を一時的に静止させます。



電池はあらかじめリモコン本体に内蔵されています。
リモコンを使用する前に、リモコンから保護シートを手前に引き、取り外します。これは、電池の放電を守るためのシートです。

手前に引き抜きます。
電池保護シート (透明シート)

電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。

矢印の方向に
引きます。



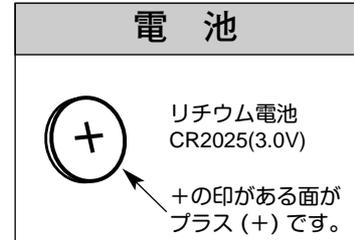
2 電池を入れます。

付属のリチウム電池を+プラス、
-マイナスに注意して入れます。



使用電池
リチウム電池1個

3 新しい電池を装着した電池ホルダーをリモコンに差し込みます。



● 電池を使用するときのご注意 ●

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- ・ 指定の型名以外の電池は使わない。
- ・ 電池は充電しない。分解しない。
- ・ + 極と- 極の向きを正しく入れる。+ 極と- 極をショートさせない。
- ・ 可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・ 電池を廃棄するときは、各自治体の指示及び電池製造者の指示に従って廃棄してください。



注意

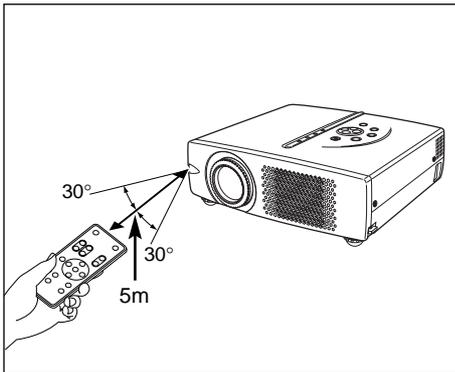


禁止

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・ 長い間使わないときは電池をとりだす。
- ・ 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい電池を入れる。
- ・ 電池はお子さまの手の届かないところに保管してください。誤って飲み込んだりする恐れがあります。

リモコンで操作できる範囲



リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面のリモコン受信部から約 5m 以内、上下左右 30° 以内です。

※間に障害物があると操作の妨げになります。

● リモコンを使用するときのご注意 ●

- ・ 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- ・ 液状のものをかけない。
- ・ 落としたり衝撃を与えない。
- ・ 熱や湿気をさける。

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

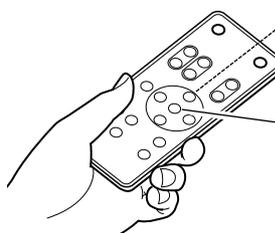
①ポインタの動かしかた

ポインタは、ポイントボタンで上下左右に動かします。ポイントボタンはリモコンと操作パネルにあります。

②項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコンを選択するには、SELECT ボタンを押します。SELECT ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

(リモコン)



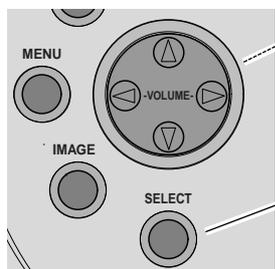
ポイントボタン

ポインタを上下左右に動かします。

SELECT ボタン

ポインタの指す項目を選択します。

(操作パネル)



ポイントボタン

ポインタを上下左右に動かします。

SELECT ボタン

ポインタの指す項目を選択します。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

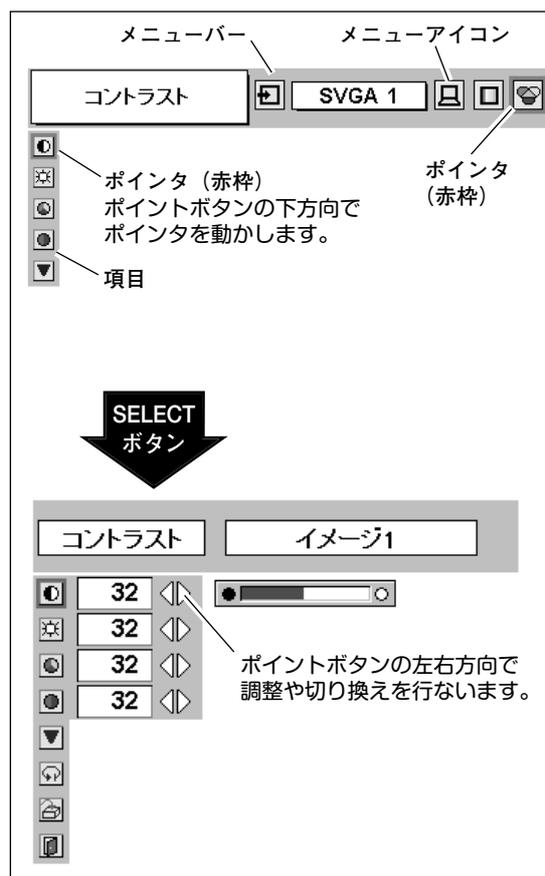
- MENU ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。(次ページ参照) メニューバーには選択できるメニューがアイコン(操作をイメージした図)の形で一覧表示されます。アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

- 赤い枠のポインタを、ポイントボタンの左右方向で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

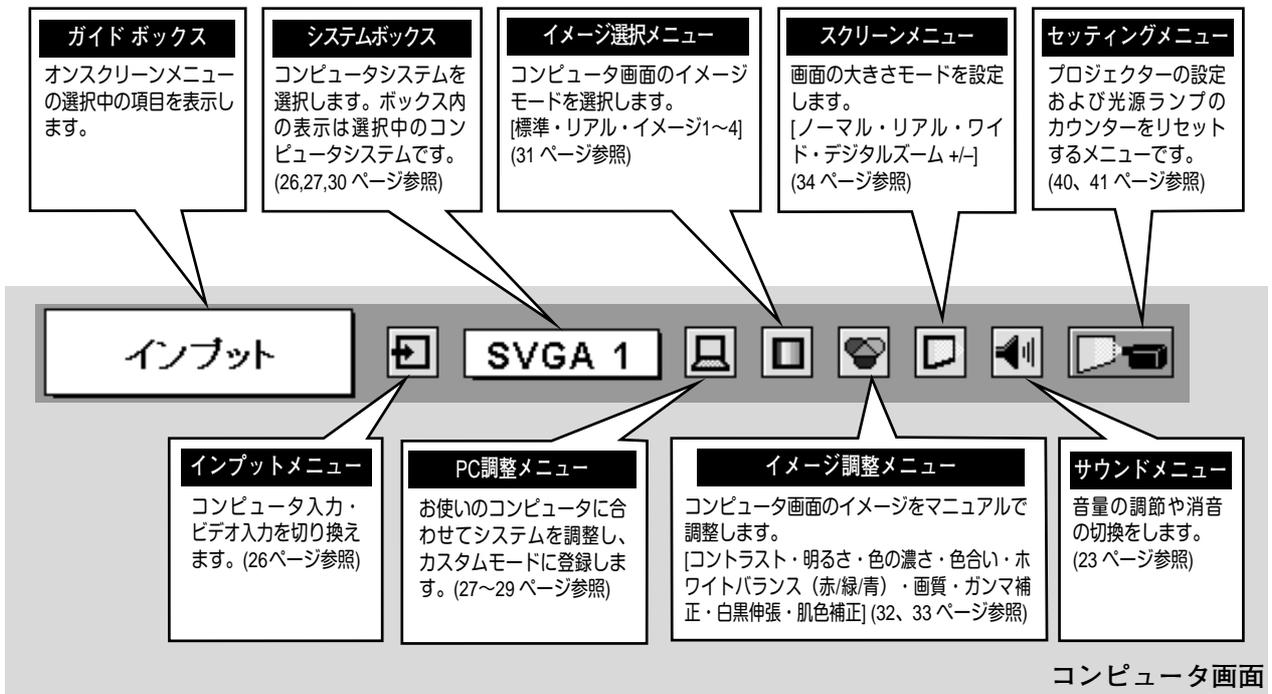
メニュー画面で調整や切り換えを行なう

- ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に降ろし、調整する項目にポインタを合わせます。
- SELECT ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。
- ポイントボタンの左右方向で、調整や切り換えを行ないません。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項を参照してください。

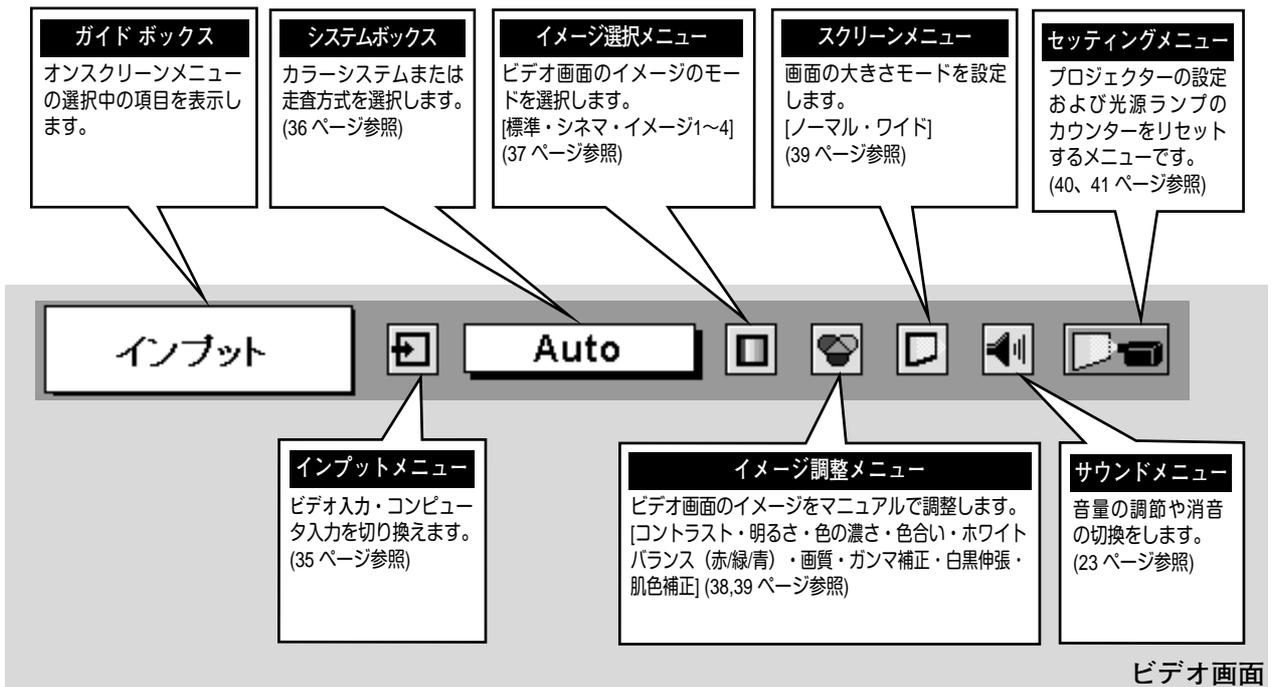


メニューバー

コンピュータ画面のメニューバー



ビデオ画面のメニューバー



電源を入れ画面を投する

電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、42～44 ページを参照してコンピュータ、ビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードを AC コンセントに接続します。(15 ページ参照)
赤色の LAMP インジケータと緑色の READY インジケータが点灯します。
- 2 リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押して電源を入れます。
LAMP インジケータが少し暗めの点灯にかわります。
約 30 秒間のオープニング画面が終わると画像が映せます。

※セッティングメニューで「オンスクリーン表示 オフ」に設定しているときはオープニング画面は出ません。

● 電源を切った後、約 90 秒間は電源が入りません ●

電源を切った後、約 90 秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は電源コードを抜かないでください。90 秒経ち、緑色の READY インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

● ご使用にならないときは電源コードを抜いてください ●

本機は、操作パネルやリモコンの ON-OFF ボタンで電源を切っても、約 13 Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源コードのプラグを AC コンセントから抜いてください。

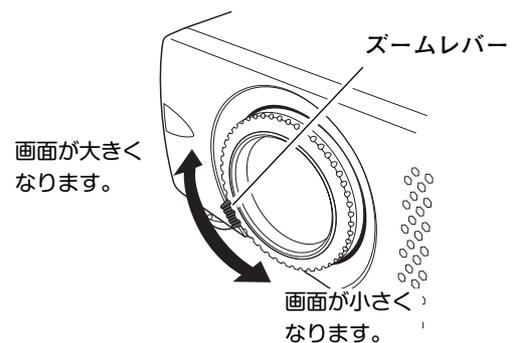


注意

画面の大きさを決める

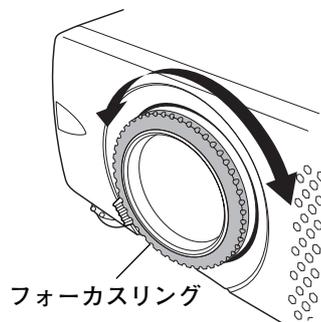
ズームレバーを上方向または下方向に回して、画面の大きさを調整をします。

- ズームレバー 上方向・・・画面が大きくなります。
- ズームレバー 下方向・・・画面が小さくなります。



フォーカスを合わせる

フォーカスリングを回して、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。



キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する

リモコンで操作するとき

リモコンの KEYSTONE ボタンの上下方向で、画面の台形ひずみを補正します。

KEYSTONE ボタン 上方向・・・画面上部の幅が縮みます。

KEYSTONE ボタン 下方向・・・画面下部の幅が縮みます。

キーストーン



※ 表示は約4秒間出ます。

※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。(無補正の場合の表示は白です。)

※ 最大の補正位置で矢印の表示は消えます。

操作パネルで操作するとき

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポイントをセッティングメニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタンの下方向でポイントをメニュー内に下ろしてキーストーンのアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンで選択すると、キーストーン調整モードに入ります。(40 ページ参照) 画面に「キーストーン」表示が現われます。

3 表示が出ている間にポイントボタンの上下方向で、画面の台形ひずみを補正します。

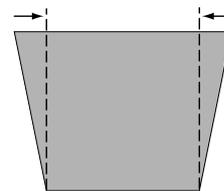
ポイント ボタン 上方向・・・画面上部の幅が縮みます。

ポイント ボタン 下方向・・・画面下部の幅が縮みます。

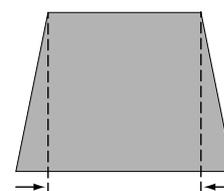
※ キーストーン調整で補正した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。

※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

KEYSTONE ボタン上方向、またはポイントボタン上方向



KEYSTONE ボタン下方向、またはポイントボタン下方向



音量を調節する・一時的に消音する (MUTE)

ダイレクトボタンで音を調節する

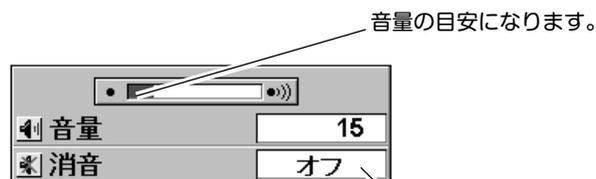
音量調節

リモコンまたは操作パネルの VOLUME ボタン (+/-) で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消音

リモコンの MUTE ボタンを押すと、一時的に音が消えます。もう一度 MUTE ボタンを押すか、VOLUME ボタン (+/-) を押すと解除されます。

※ MUTE ボタンは操作パネルにはありません。



音量の目安になります。

MUTE ボタンを押すと「オン」「オフ」が切り替わります。

- ※ 表示は約4秒で消えます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

サウンドメニューで音を調節する

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをサウンドメニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろしてお好みの項目にポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。

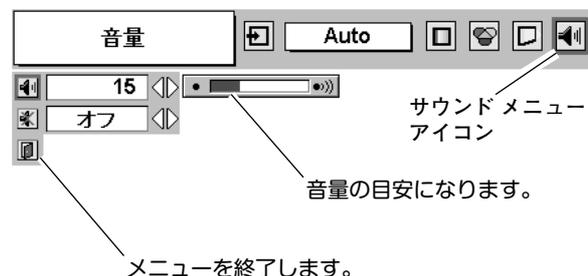
音量調節

ポイントボタンの左方向で音量が小さくなり、ポイントボタンの右方向で音量が大きくなります。音量のバーを目安に調節してください。

消音

ポイントボタンの右または左方向で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

サウンドメニュー



サウンドメニューアイコン

音量の目安になります。

メニューを終了します。

画面を一時的に静止させる（FREEZE）

リモコンの FREEZE ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。もう一度 FREEZE ボタンを押すと、解除されます。

※ FREEZE ボタンは操作パネルにはありません。

● こんなときに便利です ●

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には FREEZE ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

画面を一時的に消す（NO SHOW）

リモコンの NO SHOW ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。もう一度 NO SHOW ボタンを押すと、解除されます。また、NO SHOW 機能動作中に他のボタンを押すと、そのボタンの機能が働き、NO SHOW は自動解除されます。

※ NO SHOW ボタンは操作パネルにはありません。



※表示は約4秒間出ます。

● こんなときに便利です ●

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する（P-TIMER）

リモコンの P-TIMER ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。もう一度 P-TIMER ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに P-TIMER ボタンを押すと解除されます。

※ P-TIMER ボタンは操作パネルにはありません。



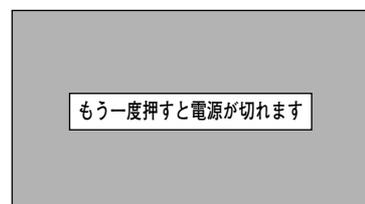
※00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

● こんなときに便利です ●

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

電源を切る

- 1 リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押すと、画面に「もう一度押すと電源が切れます」の表示が出ます。
- 2 表示が出ている間に再度 ON-OFF ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると緑色の READY インジケータが消え、赤色の LAMP インジケータが明るく点灯します。



※表示は約 4秒間出ます。

● 電源を切った後、約 90 秒間は電源が入りません ●

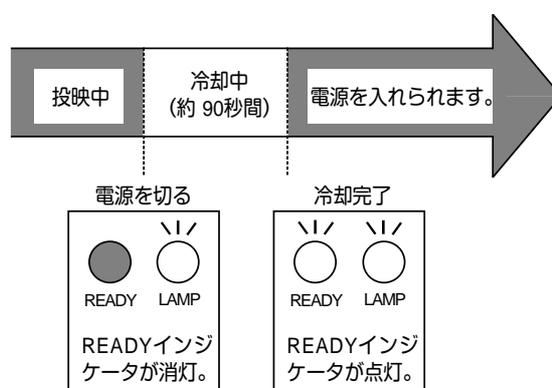
電源を切った後、約 90 秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は電源コードを抜かないでください。約 90 秒経ち、緑色の READY インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

● 光源ランプを長持ちさせるために ●

光源のランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約 5 分以上点灯させてから電源を切ってください。電源プラグを抜くときは、ON-OFF ボタンで電源を切り、約 90 秒経過後、緑色の READY インジケータが点灯してから行なってください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

● 冷却ファンについて ●

電源が入っている間、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。



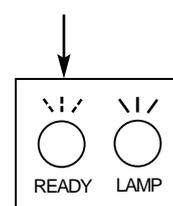
パワーマネジメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネジメント機能が搭載されています。5 分 30 秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、パワーマネジメント機能が働き、電力の節約とランプの寿命を助けるはたらきをします。工場出荷時は、パワーマネジメント機能は「オン」に設定されています。

動作について

- 1 プロジェクターの入力信号が中断し、30 秒以上プロジェクターが操作されないと、画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、タイマーが 5 分からカウントダウンを始めます。
- 2 5分経過するとランプが消灯し、ファンが回転してランプの冷却を行ないます。ランプ冷却中は READY インジケータが消灯し、プロジェクターの操作は出来ません。
- 3 ランプの冷却が完了すると READY インジケータが点滅を始め、パワーマネジメントモードになっていることを知らせます。この状態の時に、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。

パワーマネジメントモードになると、READYインジケータが点滅を始めます。



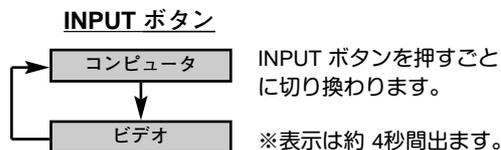
※ パワーマネジメント機能の「オン」「オフ」の設定については、41 ページをごらんください。

コンピュータ入力

コンピュータ入力で切り換える

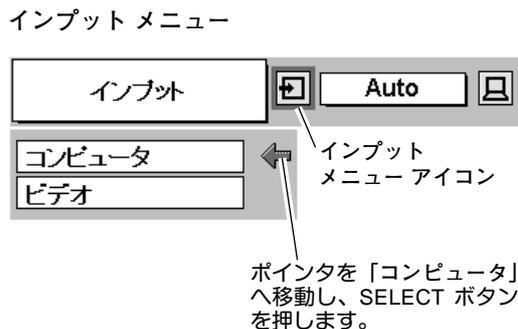
INPUT ボタンで入力を切り換える

リモコンまたは操作パネルの INPUT ボタンを押して、「コンピュータ」に切り換えます。



インプットメニューで入力を切り換える

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして「コンピュータ」にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。



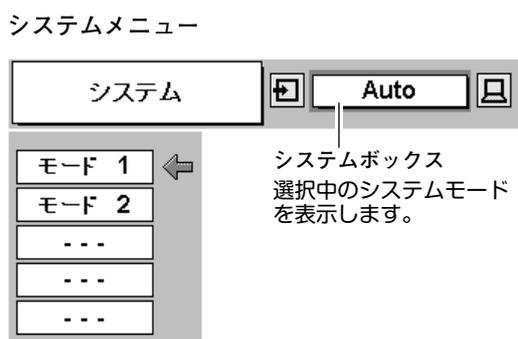
コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA...) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。(30 ページ参照)
選択されたシステム モードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

※ システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。



● システムボックスに表示されるメッセージ ●

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動 PC 調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。(28、29 ページ参照)

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。(42~44 ページ参照)

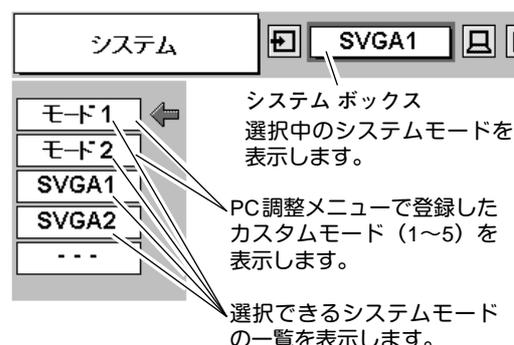
システムモードをマニュアルで選択するとき

カスタムモード*を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをシステム ボックスに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろし、いずれかにポインタを合わせて SELECT ボタンで選んでください。

※カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。(次ページ参照)

システムメニュー



コンピュータシステムの調整

自動 PC 調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」の3項目を自動調整することができます。

自動 PC 調整

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタを PC 調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろし、自動 PC 調整のアイコンにポインタを合わせて SELECT ボタンを押すと PC 調整画面が出ますので、SELECT ボタンをもう一度押して自動調整してください。

自動 PC 調整機能は、リモコンの AUTO PC ADJ. ボタンを押してもはたらきます。

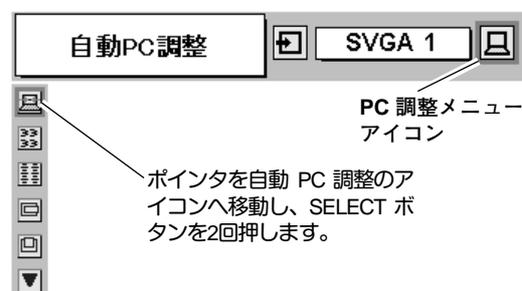
※自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。

(次ページ参照)

※自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、29 ページのマニュアル PC 調整の手順3をごらんください。

※システムメニューで RGB、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、自動 PC 調整機能ははたらきません。

PC 調整メニュー



マニュアル PC 調整 (カスタムモードを登録する)

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーのシステムボックスに「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、カスタムモードを登録してください。登録したカスタムモードは、システムメニューで選択できます。カスタムモードとして 5 つまで登録することができます。

※システムモードが RGB のときは、PC 調整メニューは機能しません。

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポイントをPC調整メニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタンの下方向でポイントをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。

トラックング

トラックング（同期）がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。(0から31まで)

※コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

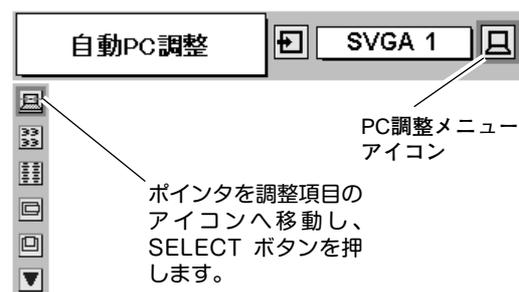
コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

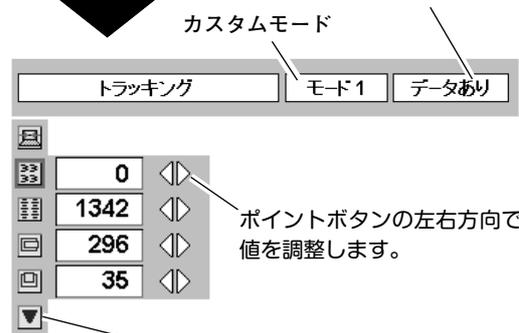
クランプ

クランプ位置を調整します。

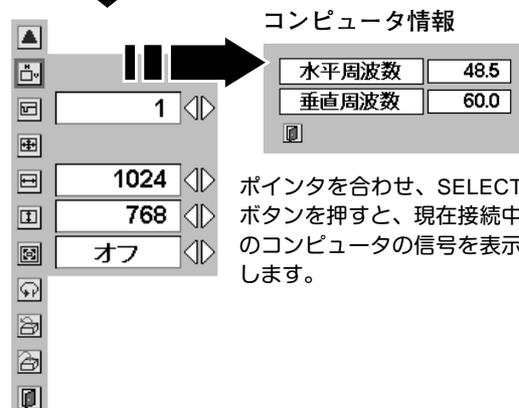
PC調整メニュー



カスタムモードの登録状況（データあり/データなし）を表示します。



ポイントを合わせ、SELECT ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。



画面領域

あらかじめ近い解像度に調整するときに使います。

画面領域 H

水平解像度を調整します。ポイントボタンの左右方向でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

画面領域 V

垂直解像度を調整します。ポイントボタンの左右方向でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

フルスクリーン

- オン・・・横4：縦3 のフルスクリーンサイズで投映します。
- オフ・・・オリジナルの画像の縦横比で投映します。

- ※画面領域 H/V を調整した後は、フルスクリーンの調整はできません。
- ※システムメニューで 1035i (HDTV) や 1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H/V」と「フルスクリーン」の調整はできません。
- ※システムメニューで 1035i (HDTV) や 1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「トラッキング」と「総ドット数」の調整が完全にはできません。(28 ページ参照)

3 メモリー

ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、PC 調整データ登録メニューが現われます。登録したいモード (モード 1 から 5 までのいずれか) にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。

データ消去

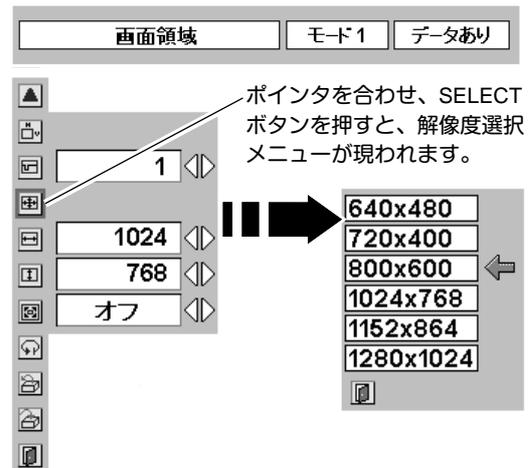
ポインタをデータ消去アイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、PC 調整データ消去メニューが現われます。消去したいモードにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。

リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

戻る

メニューを終了します。



PC調整データ登録メニュー

どこに記憶させますか?

モード 1	データあり	1346	301	39	1024	768
モード 2	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 3	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 4	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 5	データなし	1346	216	35	1024	768

何も登録されていません。

既にカスタムモードが登録されています。

PC調整データ消去メニュー

どのモードを消去しますか?

モード 1	データあり	1346	301	39	1024	768
モード 2	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 3	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 4	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 5	データなし	1346	216	35	1024	768

メニューを終了します。

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(カスタムモード 1~5 は含みません。) 接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88	XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09	XGA 4	1024 x 768	56.476	70.07
VGA 3	640 x 400	31.47	70.09	XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38	XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81	XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00	XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00	XGA 9	1024 x 768	36.00	^{87.17} (インターレース)
MAC LC13	640 x 480	34.97	66.60	XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67	XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70
RGB	————	15.625	^{50.00} (インターレース)	XGA 12	1024 x 768	35.522	^{86.96} (インターレース)
RGB	————	15.734	^{60.00} (インターレース)	XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25	XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32	XGA 15	1024 x 768	58.03	72.00
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00	MAC 19	1024 x 768	60.24	75.08
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06	MAC 21	1152 x 870	68.68	75.06
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19	SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03	SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38	SXGA 13	1280 x 1024	50.00	^{86.00} (インターレース)
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 14	1280 x 1024	50.00	^{94.00} (インターレース)
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31	SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09	SXGA 18	1280 x 1024	46.43	^{86.70} (インターレース)
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51	720p (HDTV)	————	45.00	60.00
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55	1035i (HDTV)	————	33.75	^{60.00} (インターレース)
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00	1080i60 (HDTV)	————	33.75	^{60.00} (インターレース)
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997	1080i50 (HDTV)	————	28.125	^{50.00} (インターレース)

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ XGA、SXGA、Mac16、Mac21、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) の信号を投射するときは、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

※ ドットクロックが 100MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

イメージの調整

IMAGE ボタンでイメージモードを選択する

リモコンの IMAGE ボタンを押すことに、イメージモードが「標準」「リアル」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

標準

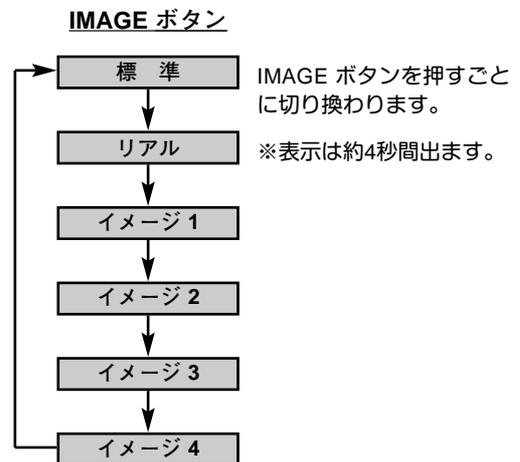
「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色あい」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」「肌色補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

中間調の再現性が高くなります。写真等のグラフィックスを自然な階調で再現できるように設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。（次ページ参照）



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろしてお好みのイメージモードにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選びます。

標準

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」「肌色補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

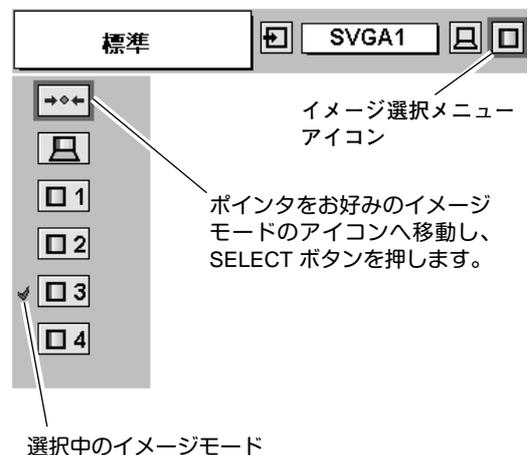
リアル

中間調の再現性が高くなります。写真等のグラフィックスを自然な階調で再現できるように設定します。

1 イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。（次ページ参照）

イメージ選択メニュー



マニュアルでイメージ調整を行なう

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。

コントラスト

ポイントボタンの左方向でコントラストが薄くなり、ポイントボタンの右方向でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)

明るさ

ポイントボタンの左方向で画像が暗くなり、ポイントボタンの右方向で画像が明るくなります。(0 から 63 まで)

色の濃さ

ポイントボタンの左方向で色が薄くなり、ポイントボタンの右方向で色が濃くなります。(0 から 63 まで)

色合い

ポイントボタンの左方向で色が紫がかり、ポイントボタンの右方向で色が緑がかります。(0 から 63 まで)

ホワイトバランス (赤)

ポイントボタンの左方向で赤の色調が薄くなり、ポイントボタンの右方向で赤の色調が濃くなります。(0 から 63 まで)

ホワイトバランス (緑)

ポイントボタンの左方向で緑の色調が薄くなり、ポイントボタンの右方向で緑の色調が濃くなります。(0 から 63 まで)

ホワイトバランス (青)

ポイントボタンの左方向で青の色調が薄くなり、ポイントボタンの右方向で青の色調が濃くなります。(0 から 63 まで)

画質

ポイントボタンの左方向で映像がやわらかくなり、ポイントボタンの右方向で映像がくっきりになります。(0 から 15 まで)

ガンマ補正

ポイントボタンの左右方向で画像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0 から 15 まで)

イメージ調整メニュー



イメージ調整メニューアイコン

ポインタを調整項目のアイコンへ移動し、SELECT ボタンを押します。

選択中のイメージモード



ポイントボタンの左右方向で値を調整します。

メモリーアイコン
ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現れます。



ポイントボタンの左右方向で値を調整します。

 **白黒伸張**

オンにすると映像の暗い部分や明るい部分のコントラストが強調され、見やすい画面となります。

 **肌色補正**

オンにすると肌色を美しく映します。

3  **メモリー**

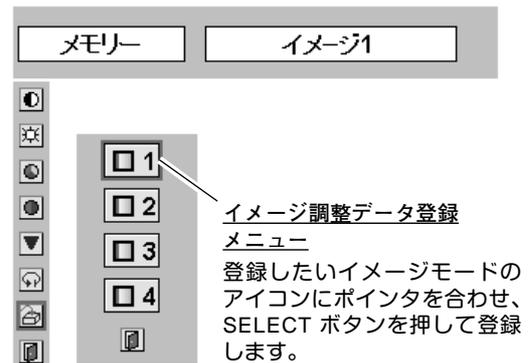
ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現われます。登録したいイメージモード（イメージ 1 から 4 までのいずれか）にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押して登録します。

 **リセット**

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

 **戻る**

メニューを終了します。

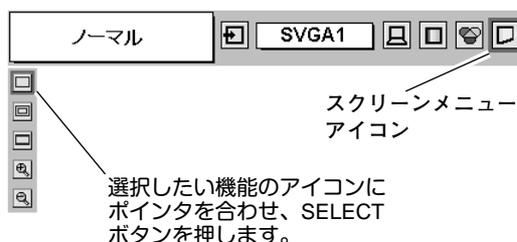


適切な画像サイズに調整する

本機の液晶パネルは 800 x 600 ドットです。お好みにより、画像サイズや水平スケールを変えることができます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして選択したい機能のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。

スクリーンメニュー



ノーマル

画像を有効な投映画面 (800 x 600 ドット) に合わせて投映します。

リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。画像サイズが有効投映画面 (800 x 600 ドット) よりも大きいときは、自動的に「デジタルズーム +」モードに入ります。

ワイド

画像を有効投映画面 (800 x 600 ドット) の幅に合わせ、横 16 : 縦 9 のワイド画面で投映します。

デジタルズーム +

「デジタルズーム +」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom +」表示が現われます。SELECT ボタンを押すごとに画像が拡大します。ポイントボタンの上下左右方向で画像を移動させます。画像の移動機能は、画像サイズが有効投映画面 (800 x 600 ドット) よりも大きいときのみはたります。リモコンの D.ZOOM ▲ ボタンを押しても画像の拡大ができます。

デジタルズーム -

「デジタルズーム -」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom -」表示が現われます。SELECT ボタンを押すごとに画像が縮小します。リモコンの D.ZOOM ▼ ボタンを押しても画像の縮小ができます。

※ 「デジタルズーム」モードから抜けるときは、D.ZOOM、SELECT、ポイント以外のボタンを押します。

※ システムメニューで 1035i (HDTV) や 1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。

※ システムメニューで RGB のシステムモードが選択されているときは、「リアル」と「デジタルズーム +/-」は選択できません。

※ システムメニューで 720p (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「ワイド」は選択できません。

※ 本機は SXGA (1280x1024 ドット) を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度が SXGA (1280x1024 ドット) を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。

※ SVGA (800 x 600 ドット) 以外の画像データは、初期画面で有効投映画面 (800 x 600 ドット) に合うように自動的に画像サイズが変換されます。

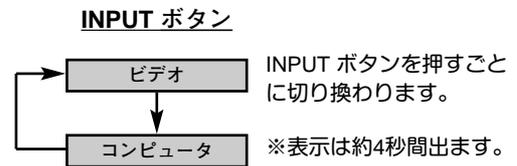
※ PC 調整メニューでマニュアル調整したカスタムモードをコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム +」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらないことがあります。

ビデオ入力に切り換える

INPUT ボタンで入力を切り換える

リモコンまたは操作パネルの INPUT ボタンを押して、「ビデオ」に切り換えます。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプットメニューで正しい入力信号を選んでください。(下記参照)

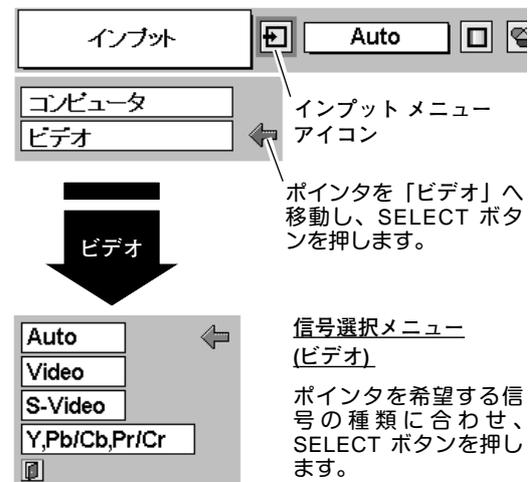


インプットメニューで入力を切り換える

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして「ビデオ」にポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択すると信号選択メニューが現われます。
- 3 ポインタを希望する信号の種類に合わせ、SELECT ボタンで選んでください。

※ 2台のビデオ機器を接続しているときは、信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入(信号の有無ではない)を検知して
1) Y, Pb/Cb, Pr/Cr, 2) S-Video, 3) Video の接続順位で入力端子を自動選択します。
希望する入力端子が選択されないときは、信号選択メニューでポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択してください。

インプットメニュー



Auto (自動)

信号を入力している端子をプロジェクターが自動で選択します。

- ※ 2台のビデオ機器を接続しているときは、
1) Y,Pb/Cb,Pr/Cr, 2) S-Video, 3) Video の優先順位でプロジェクターが入力端子への挿入を探知して接続端子を自動選択します。希望する入力端子が自動選択されないときは、ポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択してください。
※ カラーの映像信号を入力しても色が出ないときは、正しい信号の種類が選択されているか確認してください。

Video

一般のビデオなどからの映像信号(コンポジット映像信号)を入力するときに選択します。

S-Video

S映像信号(セパレートYC信号)を入力するときに選択します。

Y, Pb/Cb, Pr/Cr

DVDプレーヤーやHDTVなどからのコンポーネント映像信号を入力するときに選択します。

カラーシステムや走査方式を選択する

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをシステムボックスのアイコンに合わせます。
- 2 ポインタを希望するカラーシステムまたは走査方式に合わせて、SELECT ボタンで選んでください。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

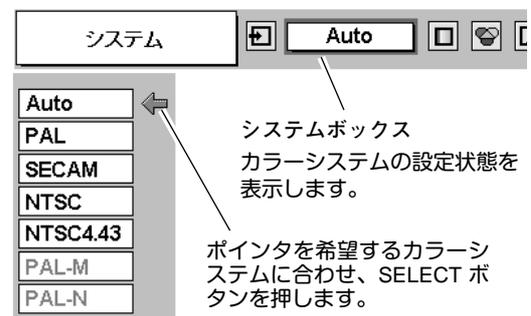
Auto (自動)

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。
※ PAL-MとPAL-N は、「Auto」に設定しても、システムは自動で選択されません。ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押してください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

システム メニュー
(コンポジット映像またはS映像入力時)



Y, Pb/Cb, Pr/Cr 端子入力選択時

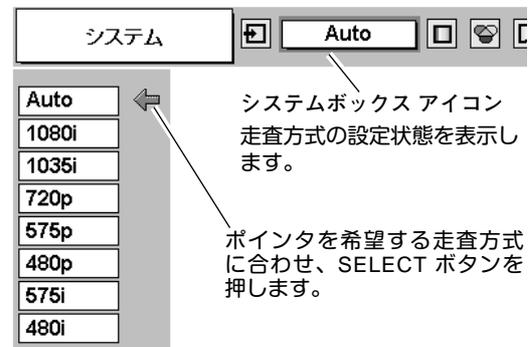
Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、1080i、1035i、720p、575p、480p、575i、480iの中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー (コンポーネント映像入力時)



イメージの調整

IMAGE ボタンでイメージモードを選択する

リモコンの IMAGE ボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「シネマ」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

標準

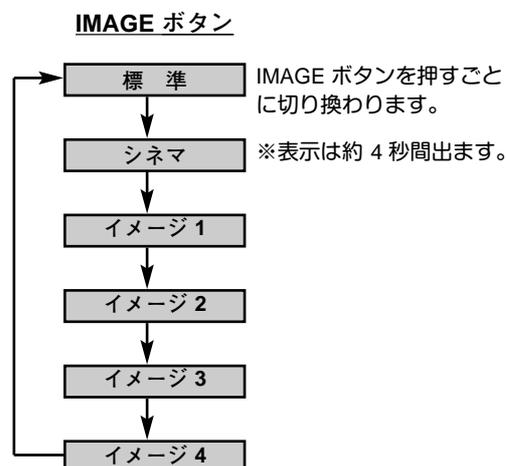
「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」「肌色補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。（次ページ参照）



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポイントをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタンの下方向でポイントをメニュー内に下ろしてお好みのイメージモードにポイントを合わせ、SELECT ボタンで選びます。

標準

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」「肌色補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

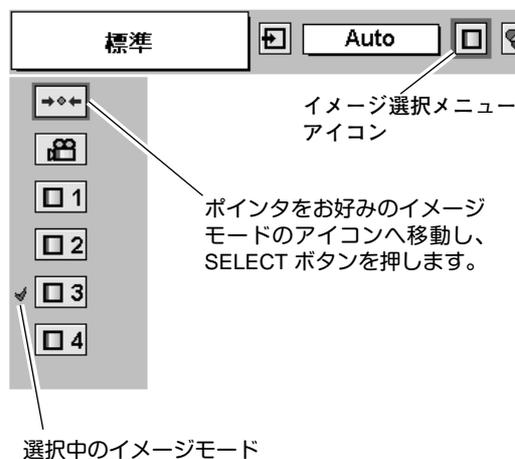
シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

1 イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。（次ページ参照）

イメージ選択メニュー



マニュアルでイメージ調整を行なう

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。

コントラスト

ポイントボタンの左方向でコントラストが薄くなり、ポイントボタンの右方向でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)

明るさ

ポイントボタンの左方向で映像が暗くなり、ポイントボタンの右方向で映像が明るくなります。(0 から 63 まで)

色の濃さ

ポイントボタンの左方向で色が薄くなり、ポイントボタンの右方向で色が濃くなります。(0 から 63 まで)

色合い

ポイントボタンの左方向で色が紫がかり、ポイントボタンの右方向で色が緑がかります。(0 から 63 まで)

ホワイトバランス (赤・緑・青)

ポイントボタンの左方向で各色調は薄くなり、ポイントボタンの右方向で各色調は濃くなります。(各色 0 から 63 まで)

画質

ポイントボタンの左方向で映像がやわらかくなり、ポイントボタンの右方向で映像がくっきりなります。(0 から 15 まで)

ガンマ補正

ポイントボタンの左右方向で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0 から 15 まで)

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。(36 ページ参照)

白黒伸張

オンにすると映像の暗い部分や明るい部分のコントラストが強調され、見やすい画面となります。

肌色補正

オンにすると肌色を美しく映します。

イメージ調整メニュー



イメージ調整メニューアイコン

ポインタを調整項目のアイコンへ移動し、SELECT ボタンを押します。



ポイントボタンの左右方向で値を調整します。

ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。

ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、前の画面表示に戻ります。



ポイントボタンの左右方向で値を調整します。

メモリーアイコン
ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現れます。

3 メモリー

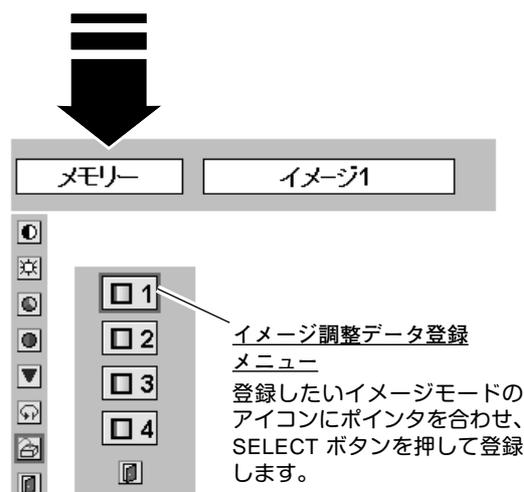
ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現われます。登録したいイメージモード（イメージ 1 から 4 までのいずれか）にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押して登録します。

リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

戻る

メニューを終了します。



画面のサイズを選択する

お好みにより、画面サイズを 2種類の中から選択できます。

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして選択したい機能のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。

ノーマル

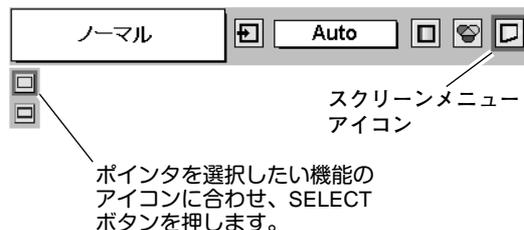
通常の映像のアスペクト比（横：縦）4：3 で投映します。

ワイド

DVD プレーヤーなどのワイドモードで出力された映像信号 をアスペクト比 16：9 のワイド画面で投映します。

※ システムメニューで 1080i、1035i または 720p の信号（アスペクト比 16：9）が選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。（36 ページ参照）

スクリーンメニュー



設定メニューの設定

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタを設定メニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして設定する項目のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の設定画面が現われます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、中国語、ハングル語、日本語の 11 か国語の中から選べます。



キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。キーストーンを選択すると画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現われ、キーストーン調整モードに入ります。ポイントボタンの上下方向で画面の台形ひずみを補正します。(22 ページ参照)



ブルーバック

信号のないときにブルーの画面を出す機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。



オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。
 オン・・・すべての画面表示を出します。
 オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。

- ・メニューバー表示 (20 ページ参照)
- ・電源を切るときの「もう一度押すと電源が切れます」の表示
- ・P-TIMER 表示 (24 ページ参照)
- ・パワーマネジメントモード時のタイマー表示(41ページ参照)



ロゴ

この機能を「オフ」にすると、電源を入れたときのロゴ表示を画面に出しません。



天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

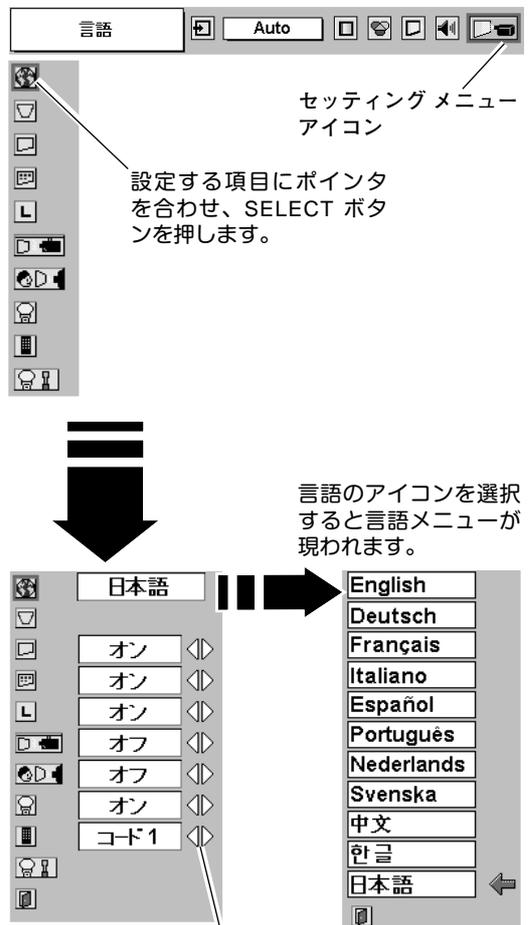
※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



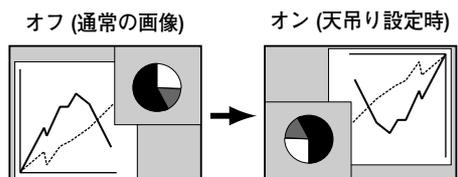
リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

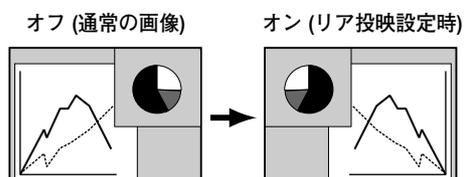
設定メニュー



天吊り機能



リア投映機能



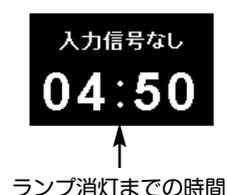
パワーマネージメント

入力信号がなく、プロジェクターが操作されない状態が 5分30秒続くと、ランプを消灯する機能です。

オン・・・無信号と無操作の状態が 30秒続くと、ランプ画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、この後無信号と無操作が5分間続くとランプが消灯し、パワーマネージメントモードになります。
(パワーマネージメント機能とそのはたらきについて、詳しくは 25 ページをごらんください。)

オフ・・・パワーマネージメント機能を解除します。

※ 工場出荷時は「オン」に設定されています。



リモコンコード

本機は 2 種類の異なるリモコンコードで操作させることができます。工場出荷時は「コード 1」に設定されており、2 台目のプロジェクター用 (拡張用) として「コード 2」に設定することができます。本機を 2 台ご使用の場合、リモコンコードを別々に設定しておく、誤動作防止になります。

コード 1・・・1台目のプロジェクター用に使用します。

コード 2・・・2台目のプロジェクター用 (拡張用) に使用します。

※ 本機 (プロジェクター) を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 2」に切り換える必要があります。リモコンの MENU と IMAGE ボタンの両方を 10 秒以上押しと、リモコン本体のコードが「コード 2」に切り換わります。リモコン本体のコードを切り換えた後は、リモコンが正しく動作するか確認してください。リモコン本体のコードを「コード 1」に戻すときは、前述と同じ手順を行なうか、またはリモコンの電池交換を行なうと、リモコン本体のコードが「コード 1」に戻ります。

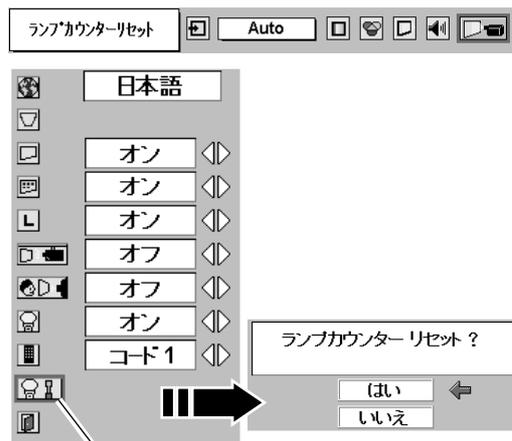
ランプカウンターリセット

ランプカウンターをリセットするメニューです。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ (黄)の点灯が消えます。

注意 光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 電源を入れます。MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタを「ランプカウンターリセット」のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。
- 3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、ポイントボタンの上下方向で **はい** にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

ランプカウンターリセット



「ランプカウンターリセット」のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと「ランプカウンターリセット？」の表示が現われます。

機器をつなぐ端子

本機の側面にはコンピュータやビデオ機器を接続するための入出力端子を装備しています。機器をつなぐときは、42～44 ページを参照して正しく接続してください。

USB 端子

コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータの USB 端子を市販の USB ケーブルでつなぎます。(43、45 ページ参照)

※ この機能を使用するには、別売のワイヤレスリモコンが必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

リセット ボタン

本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

ビデオ入力端子

ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。コンボジット映像出力は VIDEO/Y へ、コンポーネント映像出力は VIDEO/Y、Pb(Cb)、Pr(Cr) へ接続します。(44 ページ参照)

S 映像 入力端子

ビデオ機器からの S 映像出力をこの端子に接続します。(44 ページ参照)

コントロールポート端子

コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータのマウスポート端子を付属または別売のマウスコントロールケーブルでつなぎます。(43、45 ページ参照)

※ この機能を使用するには、別売のワイヤレスリモコンが必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

コンピュータ 入力端子

コンピュータからのアナログ (RGB) 出力と接続します。接続には付属の DOS/V 用コンピュータ接続ケーブルを使用します。(43、45 ページ参照)

コンピュータ音声入力端子

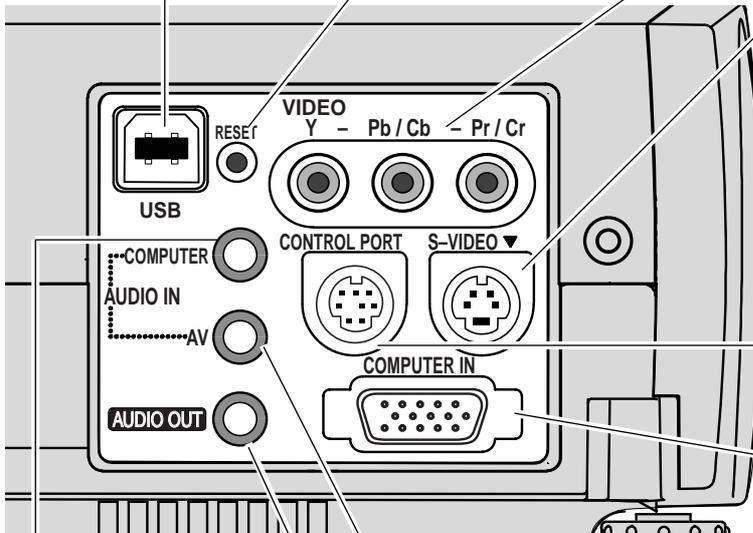
コンピュータからの音声出力 (ステレオ) をこの端子に接続します。(43 ページ参照)

音声出力端子

投映中のコンピュータまたはビデオ画面の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。(43、44 ページ参照)

音声入力端子

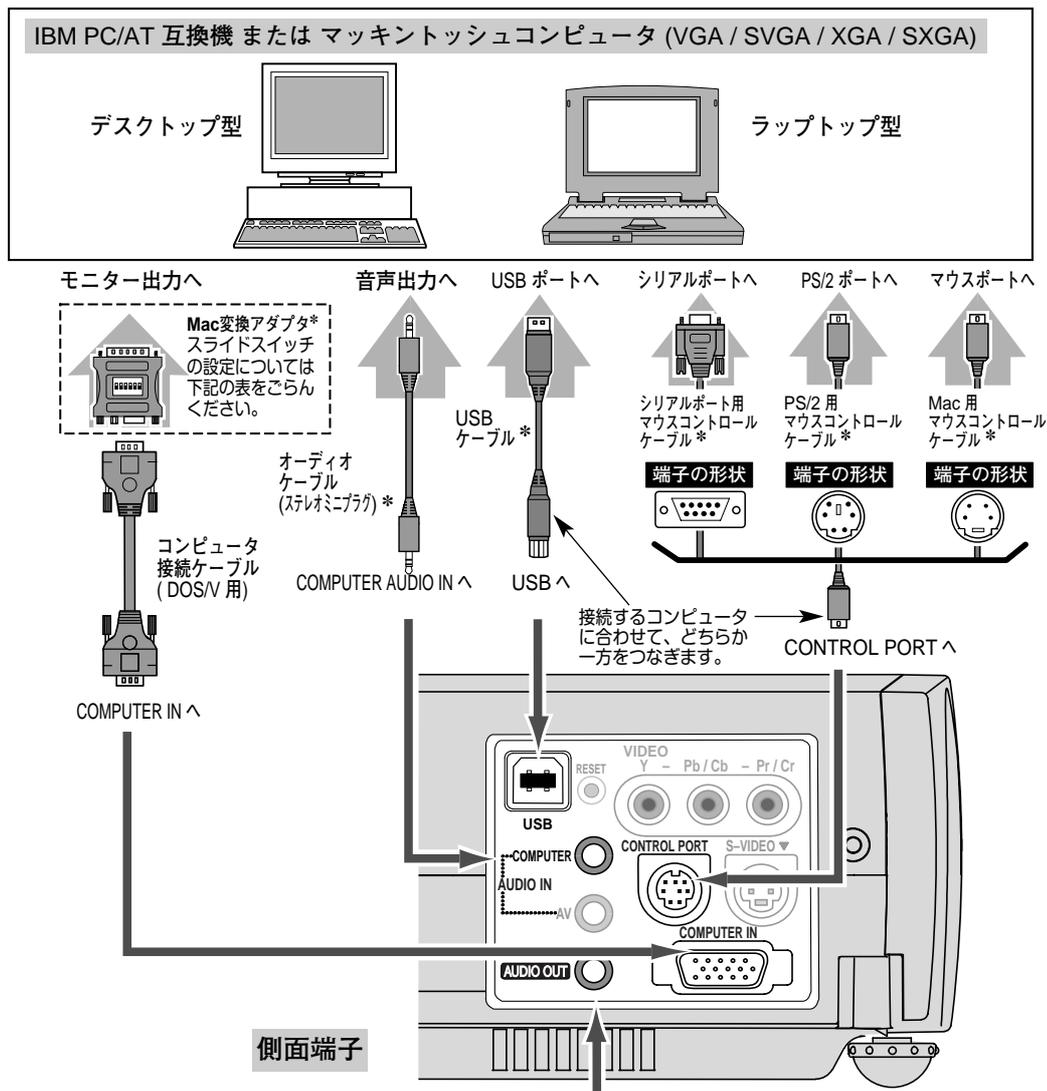
ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。(44 ページ参照)



コンピュータを接続する (例)

接続に使用するケーブル (* = 市販または別売のケーブルをお使いください。)

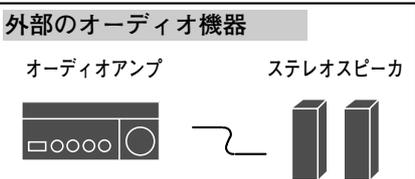
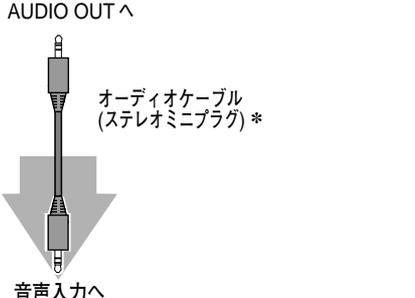
- コンピュータ接続ケーブル (DOS/V 用)
- マウスコントロールケーブル: (PS/2 用 *, シリアルポート用 *, Mac 用 *)
- USB ケーブル *
- Mac アダプタ (マッキントッシュコンピュータ接続時) *
- オーディオケーブル (ステレオミニプラグ) *



! 接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器
の両方の電源を切ってから行なってください。
はじめにプロジェクターと周辺機器の電源を
入れてからコンピュータの電源を立ち上げて
ください。

※注: Mac変換アダプタ (別売) について
プロジェクターとコンピュータの電源を
入れる前に、接続するマッキントッシュ
コンピュータのモードに合わせてアダプ
タのスライドスイッチ (1~6) を下表のよ
うに設定してください。

	1	2	3	4	5	6
13" MODE (640 x 480)	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
16" MODE (832 x 624)	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
19" MODE (1024 x 768)	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF
21" MODE (1152 x 870)	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF

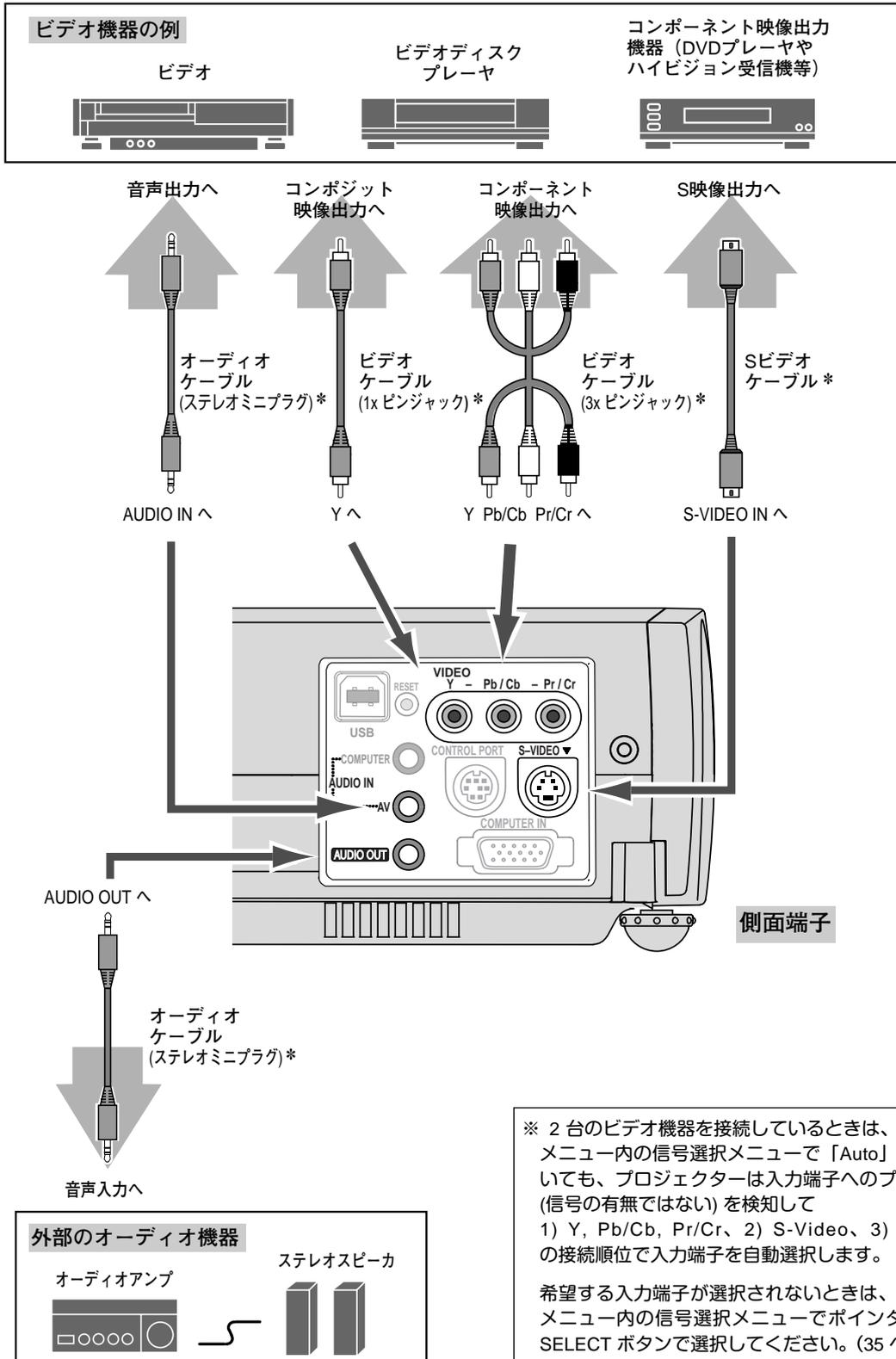


ビデオ機器を接続する (例)

接続に使用するケーブル (* = 市販のケーブルをお使いください。)

- ビデオ ケーブル (1x ピンジャック または 3x ピンジャック) *
- S ビデオ ケーブル (ミニDIN 4ピン) *
- オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ) *

! 接続するときの注意:
 接続するときは、プロジェクター
 と外部機器の両方の電源を切っ
 たら行ってください。

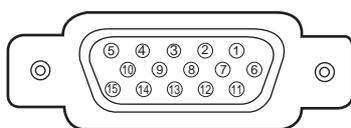


端子の仕様

COMPUTER IN ANALOG (コンピュータ アナログ入力端子)

コンピュータからのアナログ (RGB) 出力を接続する端子です。接続には、DOS/V 用コンピュータ接続ケーブル (付属) をご使用ください。マッキントッシュコンピュータを接続するときは、Mac 変換アダプタ (別売) が別途必要です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ミニ D-sub 15 ピン

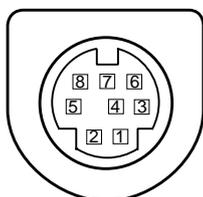


1	R	9	空き
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	接地
4	空き	12	空き
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	予備
8	接地 (B)		

CONTROL PORT (コントロールポート端子)

接続したコンピュータのマウス操作を本機のリモコンで行なうときに接続する端子です。この端子とコンピュータのマウスポート (PS/2 ポート、シリアルポート、または マウスポート) を別売のマウスコントロールケーブルで接続します。※ この端子を使用するには、別売のワイヤレスリモコンが必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

ミニ DIN 8 ピン

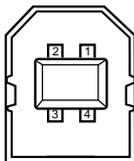


	マウスコントロールケーブルの種類		
	PS/2 (別売)	シリアル (別売)	Mac (別売)
1	----	R X D	----
2	CLK	----	ADB
3	DATA	----	----
4	GND	GND	GND
5	----	RTS / CTS	----
6	----	T X D	----
7	GND	GND	----
8	----	GND	GND

USB (ユニバーサルシリアルバス端子)

USB 規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。

USB コネクタ (シリーズ B)



1	VCC
2	- DATA
3	+ DATA
4	GND

内部の温度上昇について

WARNING TEMP. インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると WARNING TEMP.インジケータ (赤) が点滅し、保護のために自動的に電源が切れます。温度が下がるとインジケータの点滅は消えます。WARNING TEMP.インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- ・ 底面の吸気口のエアフィルターにホコリがたまっていますか。フィルターを掃除してください。
- ・ 前面の排気口や後面および底面の吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～35℃)
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、WARNING TEMP.インジケータの点滅が消えていることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再びインジケータが点滅して電源が切れます。

エアフィルターはこまめに掃除してください

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。エアフィルターは、こまめに掃除してください。

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行ってください。
- 2 プロジェクターを裏返します。エアフィルターの両端のツメを上に取り上げて、エアフィルターを外します。
- 3 エアフィルターのホコリをブラシで取ります。
- 4 エアフィルターを取り付けます。

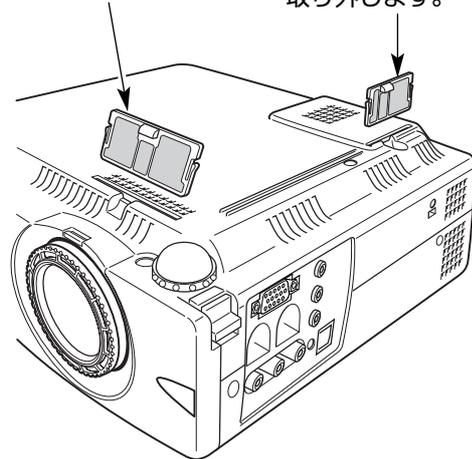
エアフィルターの汚れがひどいときは、水洗いの後よく乾かしてから取り付けてください。取り替え用エアフィルター (別売) は、お買い上げの販売店にご相談ください。

取り替え用エアフィルターの品番 (大)：610 293 9040

取り替え用エアフィルターの品番 (小)：610 293 9057

エアフィルター (大)
ツメを上に取り上げて
取り外します。

エアフィルター (小)
ツメを上に取り上げて
取り外します。



●お掃除の際にご注意ください●

- ・ エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- ・ エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- ・ エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

光源ランプの交換

LAMP REPLACE インジケータの点灯

光源に使われているランプの寿命が近づくと LAMP REPLACE インジケータ (黄) が点灯します。はやめに新しいランプと交換をしてください。LAMP REPLACE インジケータは、ランプを交換するまで電源「ON」(入) のときに点灯します。

光源ランプの交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごと行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

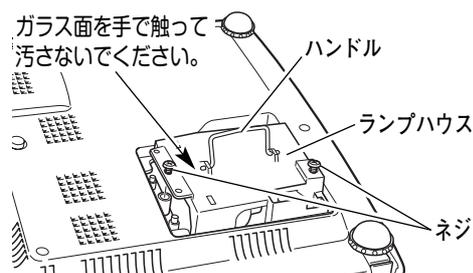
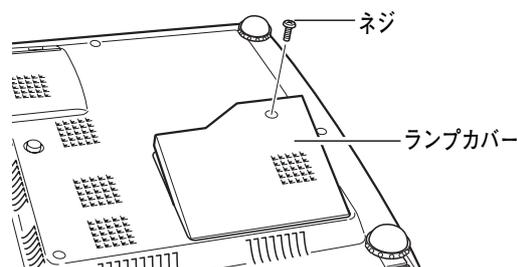
- ・交換ランプの品番：POA-LMP37 (サービス部品コード：610 295 5712)
- ・プロジェクターの品番：LP-SW20A



注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、45 分以上冷却してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをする恐れがあります。

- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず 45 分以上冷却してください。
- 2 (+)ドライバーで1本ネジを外し、ランプカバーを外します。
- 3 ランプハウスの 2 本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2 本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。



ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ(黄)の点灯が消えます。

「ランプカウンターのリセット」のしかたは、41 ページのランプカウンターリセットの設定を参照ください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（LAMP REPLACE インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行なってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店または当社サービスステーションへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

正しくお使いいただくために

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズカバーをはめ、キャリーバッグに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー (カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー) で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。(掃除のしかたは 46 ページを参照)

インジケータ表示とプロジェクターの状態

インジケータでプロジェクターの状態をお確かめください。

インジケータの名称と点灯状態				プロジェクターの状態
LAMP REPLACE 黄	LAMP 赤	READY 緑	WARNING TEMP. 赤	
●	●	●	●	プロジェクターの電源が切れています。 (電源コードが抜けています。)
※	☉	☉	●	ON-OFF ボタンを押し、プロジェクターを始動することができます。
	●	☉	●	プロジェクターは動作中です。
	●	☉	●	パワーマネジメントモードが働いています。
	☉	●	●	プロジェクターは冷却中です。
	●	●	☉	本機内部の温度が高くなっています。温度が下がると点滅は消えます。 点滅が消えるまでプロジェクターの電源は入りません。

☉ …点灯 ☉ …点滅 ● …暗く点灯 ● …消灯

※…LAMP REPLACE が点灯するとランプの寿命です。(通常は消灯) すみやかにランプを交換してください。
ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。(41 ページ参照)

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。

こんなときは	ここを確認してください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードは接続されていますか。 ● 電源は入っていますか。ON-OFF ボタンを押してみてください。 ● READY インジケータ<緑>が消えているときは、ON-OFF ボタンを押しても電源が入りません。(21、25 ページ参照) ● WARNING TEMP. インジケータ<赤>が点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、ON-OFF ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。(46 ページ参照)
画像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。(42～44 ページ参照) ● 電源を入れたあと約30秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。(21 ページ参照) ● レンズ カバーをとりましたか。 ● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。(26、27、35、36 ページ参照) ● 使用温度範囲(5℃～35℃)からはずれていませんか。 ● NO SHOW モードになっていませんか。NO SHOW ボタンを押してみてください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。(42～44 ページ参照) ● 音量が最小になっていませんか。VOLUME + ボタンを押してみてください。 ● 消音状態になっていませんか。MUTE ボタンを押すか、VOLUME + ボタンを押してみてください。
画像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。(22 ページ参照) ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。(12 ページ参照) ● スクリーンに対して過度に斜めに投射しているときは、画面に台形ひずみ(あおり)ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。(13、22 ページ参照) ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池は正しく入っていますか。+-を正しく入れてください。(18 ページ参照) ● 電池がなくなっていますか。新しい電池と交換してください。(18 ページ参照) ● 電源コードは接続されていますか。接続を確認してください。(15 ページ参照) ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。(18 ページ参照) ● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。(41 ページ参照)

仕様

プロジェクター本体

種類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3 枚 3 原色光シャッター方式
液晶パネル	パネルサイズ：0.7 型 表示方式：透過型 TN 液晶パネル 駆動方式：ポリシリコン TFT アクティブマトリクス方式 画素数：1,444,000 画素 {480,000 (横 800 x 縦 600) x 3}
水平解像度	500 TV本 (S映像入力時)
投映レンズ	1~1.2 倍手動ズームレンズ F=1.6 ~ 1.78 f=28.7 ~ 34.5 mm
光源ランプ	高輝度 150W UHP ランプ
ズーム調整	手動式
フォーカス調整	手動式
コンピュータ入力	アナログ RGB 入力：ミニ D-sub 15ピン RGB 信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期：TTL レベル、負または正極性 (G 信号中のコンポジット同期；0.3 Vp-p、負極性インピーダンス 75 Ω) 音声入力：ミニジャック (ステレオ)、142 mVrms、インピーダンス 47 KΩ以上
ビデオ入力	映像Y：ピンジャック、1 Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω Pb/Cb：ピンジャック、0.7 Vp-p、インピーダンス 75 Ω Pr/Cr：ピンジャック、0.7 Vp-p、インピーダンス 75 Ω S 映像：セパレート YC 信号；ミニ DIN 4 ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω C；0.286 Vp-p (バースト信号)、インピーダンス 75 Ω 音声：ミニジャック (ステレオ)、142 mVrms、インピーダンス 47 KΩ以上
制御入出力、他	音声モニター出力 (コンピュータ/ビデオ兼用)：ミニジャック (ステレオ)、 142mVrms、インピーダンス 1 KΩ以下 コントロールポート：ミニDIN 8 ピン USB 端子：USB コネクタ、シリーズ B
走査周波数	水平 15~100 KHz、垂直 50~100 Hz
カラーシステム	6 システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
音声実用最大出力	1 W (JEITA)
スピーカ	28 mmφ 真円形 1 個
電源	AC 100V 50/60 Hz
消費電力	250 W (リモコンで電源を切ったとき 13 W)
本体寸法	幅 25.7×高さ 7.58×奥行 22.9 cm (突起部含まず)
質量	2.8 Kg

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電源	DC3.0V リチウム電池 1個使用 (型名：CR2025)
到達距離	約5m (受信部正面)
本体寸法	幅54×高さ7×奥行135mm
質量	36g (電池を含む)

付属品

- リモコン 1個
- リモコン用 リチウム電池 1個
- 電源コード 1本
- コンピュータ接続ケーブル (DOS/V用) 1本
- 取扱説明書
- 保証書
- ユーザー登録カード (はがき)
- キャリーバッグ 1枚
- レンズカバー 1個

別売品

- ワイヤレスリモコン 品番：POA-RCKIT01
- マウスコントロールケーブル (PS/ 2用) 品番：POA-MCPS2
- マウスコントロールケーブル (シリアル用) 品番：POA-MCSRL
- マウスコントロールケーブル (Mac用) 品番：POA-MCMAC
- Mac変換アダプタ 品番：POA-MACAP

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
 ※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
 ※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ...

家電製品についてのご相談や、修理のご依頼は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は...

下記の相談窓口にお問い合わせください。

総合相談窓口

家電製品についての全般的なご相談

修理相談窓口

修理サービスについてのご相談

総合相談窓口

◆北海道地区

☎ 札幌 (011)290-1522

◆東北地区

☎ 仙台 (022)714-6137

◆関東地区

☎ 東京 (03)3815-1111

◆中部・北陸地区

☎ 名古屋 (052)533-5245

◆近畿・四国地区

☎ 大阪 (06)6994-9570

◆中国地区

☎ 広島 (082)544-6036

◆九州・沖縄地区

☎ 福岡 (092)263-7629

受付時間

月曜日～土曜日（祝日および当社の休日を除く）
9:00～12:00、13:00～17:00

郵便・FAXでのご相談される場合は

◆東京お客さまセンター

FAX (03)5803-3699

〒113-8434 東京都文京区本郷3-10-15

◆大阪お客さまセンター

FAX (06)6994-9510

〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5

修理相談窓口 三洋電機サービス(株)

受付時間 月曜日～土曜日（祝日および当社の休日を除く）
9:00～12:00、13:00～17:30

北海道地区

北海道地区 出張修理のご相談窓口

☎ (011)833-7888

修理ご相談窓口

☎ (011)831-9200

札幌 ☎ (011)831-9201

〒003-0013 札幌市白石区中央3条4-1-36

函館 ☎ (0138)22-6745

〒040-0036 函館市東雲町2-4

北海道地区

旭川 ☎ (0166)22-2421

〒070-0073 旭川市曙北3条7-3-3

苫小牧 ☎ (0144)33-3421

〒053-0042 苫小牧市三光町2-2-5

北見 ☎ (0157)23-4871

〒090-0037 北見市山下町4-7-14

釧路 ☎ (0154)22-1576

〒085-0021 釧路市浪花町7-7

帯広 ☎ (0155)24-4973

〒080-0016 帯広市西6条南5-3-8

東北地区

東北地区 出張修理のご相談窓口

☎ (022)382-2213

修理ご相談窓口

☎ (022)382-5616

青森県

青森 ☎ (017)729-3401

〒030-0141 青森市大字上野字山辺29-5

八戸 ☎ (0178)28-9225

〒039-1103 八戸市長苗代字観音堂50-5

秋田県

秋田 ☎ (018)862-6551

〒010-0925 秋田市旭南3-2-67

岩手県

盛岡 ☎ (019)635-0136

〒020-0863 盛岡市南仙北1-13-6

山形県

山形 ☎ (023)641-1769

〒990-2432 山形市荒橋町1-21-30

宮城県

仙台 ☎ (022)384-0444

〒981-1225 名取市飯野坂3-4-8

福島県

郡山 ☎ (024)945-6793

〒963-0111 郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7

関東地区

関東地区 出張修理のご相談窓口

☎ (03)5302-3401

修理ご相談窓口

☎ (03)3372-5701

東京都

城北 ☎ (03)3958-1261

〒173-0021 板橋区弥生町72-5

城東 ☎ (03)3607-3191

〒125-0051 葛飾区新宿4-10-15

江東 ☎ (03)3685-8166

〒136-0071 江東区亀戸1-8-6

城南 ☎ (03)3421-5171

〒154-0003 世田谷区野沢3-5-3

城西 ☎ (03)3376-3361

〒151-0073 渋谷区笹塚3-1-13

府中 ☎ (042)364-7721

〒183-0045 府中市美好町2-3-1

関東地区

山梨県

甲府 ☎ (055)226-2561

〒400-0035 甲府市飯田4-9-14

神奈川県

横浜 ☎ (045)939-0281

〒224-0054 横浜市都筑区佐江戸町788 富士商工 第二ビル

横須賀 ☎ (0468)65-8362

〒237-0062 横須賀市浦郷町5-2931-22

平塚 ☎ (0463)55-3926

〒254-0014 平塚市四之宮5-10-4

相模原 ☎ (042)742-2272

〒228-0805 相模原市豊町17-11

埼玉県

大宮 ☎ (048)664-2319

〒330-0038 さいたま市宮原町1-30

坂戸 ☎ (049)284-8900

〒350-0214 坂戸市千代田5-3-17

千葉県

千葉 ☎ (043)241-7311

〒260-0025 千葉市中央区間屋町5-20

鎌ヶ谷 ☎ (047)441-0111

〒273-0105 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59

栃木県

宇都宮 ☎ (028)653-2811

〒321-0106 宇都宮市上横田町1302-12

群馬県

高崎 ☎ (027)362-1151

〒370-0001 高崎市中尾町池の内44-1

太田 ☎ (0276)46-3821

〒373-0852 太田市新井町211-2

茨城県

水戸 ☎ (029)251-4125

〒311-4152 水戸市河和田3-2386-1

つくば ☎ (0298)64-4751

〒300-3261 つくば市花畑2-15-3

新潟県

新潟 ☎ (025)285-2431

〒950-0971 新潟市近江244

長岡 ☎ (0258)24-0705

〒940-0029 長岡市東蔵王2-3-46

上越 ☎ (0255)43-3535

〒942-0074 上越市石橋2-2-9

中部地区

中部地区 修理ご相談窓口

☎ (0586)71-6960

愛知県

名古屋 ☎ (052)451-3161

〒453-0804 名古屋市市中村区黄金通5-10

岡崎 ☎ (0564)23-3418

〒444-0065 岡崎市柿田町1-2

一宮 ☎ (0586)71-4181

〒491-0032 一宮市下沼町3-21-1

中部地区	近畿地区	中国地区
<p>静岡県 静岡 ☎ (054)261-4151 〒420-0813 静岡市長沼885 沼津 ☎ (055)963-1000 〒410-0861 沼津市真砂町3-1 浜松 ☎ (053)461-8685 〒435-0016 浜松市和田町795-2</p> <p>長野県 松本 ☎ (0263)26-1107 〒390-0835 松本市高宮東1-35 長野 ☎ (026)299-9501 〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川 字東松島1000-2</p> <p>岐阜県 岐阜 ☎ (058)246-3417 〒501-6006 羽島郡岐南町伏屋1-35</p> <p>三重県 津 ☎ (059)228-8126 〒514-0838 津市岩田町10-3</p> <p>石川県 金沢 ☎ (076)237-7811 〒920-0062 金沢市割出町627</p> <p>富山県 富山 ☎ (076)422-7020 〒939-8211 富山市二口町1-13-8</p> <p>福井県 福井 ☎ (0776)22-6082 〒918-8231 福井市問屋町1-17</p>	<p>兵庫県 阪神 ☎ (06)6432-3401 〒661-0026 尼崎市水堂町4-17-6 神戸 ☎ (078)651-3951 〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11 姫路 ☎ (0792)96-2141 〒670-0981 姫路市西庄字八町108 洲本 ☎ (0799)22-2702 〒656-0101 洲本市納字横竹308-1</p> <p>京都府 京都 ☎ (075)672-0877 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町41 福知山 ☎ (0773)27-3458 〒620-0856 福知山市土師宮町1-66</p> <p>滋賀県 大津 ☎ (077)545-4221 〒520-2134 大津市瀬田1-1-5</p> <p>和歌山県 和歌山 ☎ (073)436-3110 〒641-0006 和歌山市中島369</p>	<p>山口県 山口 ☎ (083)973-3391 〒754-0024 吉敷郡小郡町若草町2-6</p> <p>鳥取県 鳥取 ☎ (0857)24-2930 〒680-0843 鳥取市南吉方3-107</p> <p>島根県 松江 ☎ (0852)23-1183 〒690-0017 松江市西津田4-1-14</p>
		九州地区
		<p>九州地区 修理ご相談窓口 ☎ (092)928-3414</p> <p>福岡県 福岡 ☎ (092)928-3414 〒818-8534 筑紫野市紫6-1-1 北九州 ☎ (093)521-5286 〒802-0023 北九州市小倉北区下富野 2-10-28 久留米 ☎ (0942)21-3534 〒830-0052 久留米市上津町字赤坂 1890-2</p> <p>長崎県 長崎 ☎ (095)824-5628 〒850-0012 長崎市本河内町922 佐世保 ☎ (0956)31-7635 〒857-1162 佐世保市卸本町17-1</p> <p>熊本県 熊本 ☎ (096)357-1122 〒861-4106 熊本市南高江3-2-88</p> <p>大分県 大分 ☎ (097)543-3454 〒870-0822 大分市大道町3-4-32</p> <p>宮崎県 宮崎 ☎ (0985)29-3441 〒880-0036 宮崎市花ヶ島町観音免883</p> <p>鹿児島県 鹿児島 ☎ (099)251-4615 〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-10</p>
	四国地区	
	<p>四国地区 出張修理のご相談窓口 ☎ (087)844-8321</p> <p>香川県 四国 ☎ (087)843-1840 〒761-0104 高松市高松町2175-10</p> <p>愛媛県 松山 ☎ (089)971-3342 〒791-8036 松山市高岡町148-1</p> <p>高知県 高知 ☎ (088)860-0229 〒781-5106 高知市介良乙1044</p> <p>徳島県 徳島 ☎ (088)699-4131 〒771-0219 板野郡松茂町笹木野字 八北開拓150-2</p>	
		中国地区
		<p>中国地区 修理ご相談窓口 ☎ (082)293-6511</p> <p>広島県 広島 ☎ (082)293-6511 〒733-0012 広島市西区中広町3-17-5 福山 ☎ (084)925-3455 〒720-0077 福山市南本庄3-1-48</p> <p>岡山県 岡山 ☎ (086)245-1634 〒700-0973 岡山市下中野703-101</p>
近畿地区		
<p>近畿地区 出張修理のご相談窓口 ☎ (06)4250-8400 修理ご相談窓口 ☎ (06)6993-2251</p> <p>大阪府 大阪 ☎ (06)6992-6235 〒570-0086 守口市竹町4-13 大阪南 ☎ (06)6761-4600 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-1-14 三洋ビル2F 大阪東 ☎ (0729)65-1811 〒578-0903 東大阪市今米2-3-29 阪和 ☎ (072)221-8571 〒590-0959 堺市大町西3-1-16</p> <p>奈良県 奈良 ☎ (0744)22-7888 〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31</p>		
		沖縄地区
		<p>沖縄県 沖縄 ☎ (098)944-5018 〒903-0103 沖縄県西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株) サービス部</p>

上記お客さまご相談窓口の名称、所在地、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
(ただし、光源ランプは6ヶ月です)

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

51ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに ご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご購入やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がございましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検	●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！	熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。
	このような 症状は ありませんか	<ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。● 映像が時々消えることがある。● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。● 内部に水や異物が入った。● その他異常や故障がある。
	➡	ご使用 中止
		故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグははずして、必ず販売店にご相談ください。

総合相談窓口

受付時間 月曜日～土曜日（祝日および当社の休日を除く）
9:00～12:00、13:00～17:00

家電製品についての全般的なご相談は最寄りの下記電話番号にお問い合わせください。

- ◆北海道地区 ☎札幌 (011) 290-1522
- ◆東北地区 ☎仙台 (022) 714-6137
- ◆関東地区 ☎東京 (03) 3815-1111
- ◆中部・北陸地区 ☎名古屋 (052) 533-5245
- ◆近畿・四国地区 ☎大阪 (06) 6994-9570
- ◆中国地区 ☎広島 (082) 544-6036
- ◆九州・沖縄地区 ☎福岡 (092) 263-7629

郵便・ファクシミリでご相談されるときは・・・

- ◆東京お客さまセンター
FAX (03) 5803-3699
〒113-8434 東京都文京区本郷3-10-15
- ◆大阪お客さまセンター
FAX (06) 6994-9510
〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店または修理相談窓口（本誌内に掲載）にお問い合わせください。

お客さまメモ

品番	LP-SW20A
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さま ご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

マルチメディアカンパニー
映像メディア事業部 LCD国内販売部
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1